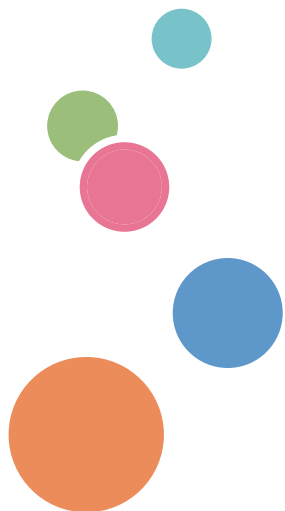


取扱説明書

安全上のご注意	1
はじめに	2
基本的な操作	3
各種設定のしかた	4
LAN制御機能	5
故障かな…と思ったときは	6
付録	7



ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。
また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。



もくじ	1
この本の読みかた.....	3
正しくお使いいただくために.....	3
本書についてのご注意.....	3

安全上のご注意	4
安全上のご注意.....	4
表示について.....	4
守っていただきたいこと.....	5
安全に関する本機の表示.....	18
警告・注意のラベル位置について.....	18
電源スイッチの記号.....	19
使用上のお願い.....	19
本製品の取り扱いに関すること.....	19
お手入れに関すること.....	19
映像の著作権について.....	20
3D映像の視聴について.....	20
法律上の禁止事項.....	21
海外輸出規制.....	21
電波、高調波電流に関する事項.....	21
電波障害についての注意事項.....	21
高調波電流規格についての事項.....	21
廃棄について.....	21

はじめに	22
同梱品の確認.....	22
本体各部の名称.....	23
入出力端子.....	24
本体操作部.....	25
リモコン.....	26
リモコンの電池.....	28
初回使用時.....	28
電池交換.....	28
リモコンの有効操作範囲.....	29
360度設置について.....	30

基本的な操作	31
接続する.....	31
コンピューター/ ノートパソコンと接続する.....	31
映像機器と接続する.....	32

電源の入れかたと切りかた.....	33
電源を入れる.....	33
電源を切る.....	34
インジケーターによる警告表示.....	35
投写映像を調整する.....	36
投写映像の位置を調整する.....	36
画面の大きさとピントを調整する.....	37
レンズシフト調整.....	38
投写映像の大きさを調整する.....	39

各種設定のしかた	41
メニューを使う.....	41
操作のしかた.....	41
映像調整.....	42
スクリーン.....	45
設定.....	50
音量.....	53
オプション.....	54
3D.....	58

LAN制御機能	59
ウェブブラウザで本機を制御する.....	59
本機を接続する.....	59
ログインする.....	60
システム状態(System Status).....	61
設定(General Setup).....	62
プロジェクターコントロール (Projector Control).....	63
ネットワーク設定 (Network Setting).....	65
アラート設定(Alert Setting).....	66
クレストロン (Crestron).....	67
クレストロンツール (Crestron Tools).....	68
クレストロン情報 (Crestron Info).....	68
クレストロンのIT管理者に 問い合わせる.....	69
設定のリセット(Reset to Default).....	69
システムの再起動(Reboot System).....	70

もくじ

プロジェクター管理ユーティリティで 本機を制御する	71
プロジェクター管理ユーティリティにつ いて	71
プロジェクター管理ユーティリティをイ ンストールする	71
プロジェクターを登録する	72
プロジェクター管理ユーティリティでプ ロジェクターを制御する	76

故障かな・・・と思ったときは... 77

付録 82

対応信号一覧表	82
端子の形態	86
端子：コンピューター入力端子 (ミニDサブ15ピン) [モニター出力端子]	86
端子：PC制御 (Dサブ9ピン)	86
端子：同期出力端子(+12V)	87
端子：有線リモコン	87
仕様	88
外形寸法	89
商標	90

この本の読みかた

正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

安全上のご注意

安全上のご注意

安全に関する注意事項を説明します。

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

安全表示の例です。



△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⊘ の中に具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

● の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します)

守っていただきたいこと

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

接地接続について守っていただきたいこと

⚠ 警告

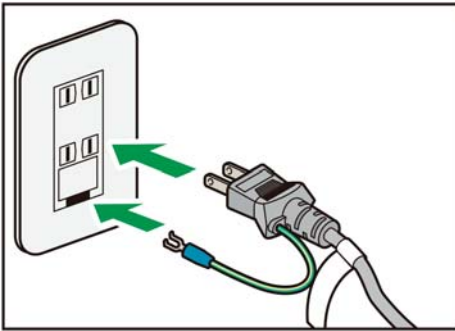


- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機のアース線は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）を行っているアース線

1. アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



使用環境について守っていただきたいこと

⚠ 警告



- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

安全上のご注意

⚠警告



- 本製品とその付属品を幼児・子供の手の届かないところに設置・保管してください。幼児・子供の手の届くところに設置・保管すると、けがの原因となります。

⚠警告



- 機械の近くや内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。また、機械の近くや内部に置かないでください。火災や感電の原因となります。

⚠注意



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。

⚠注意



- この機器の上にものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

⚠注意



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

⚠注意



- 雨天時、降雪時、水辺など、水がかかる恐れのある環境では使用および設置をしないでください。火災や感電の原因となります。

⚠注意



- ・排気口に手や顔を近づけないでください。排気口から熱風が出るため、やけどや事故の原因になります。

⚠注意



- ・紙や布などのやわらかいものの上で本機を使用しないでください。吸気口に吸着して内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。

⚠注意



- ・本機を風通しの悪い場所には設置しないでください。内部に熱がこもり火災の原因になります。

⚠注意



- ・直射日光の当たる所や、熱器具などの近くなど温度が高くなる場所には、設置・保管をしないでください。熱による外装の変形や劣化、本機内部の部品へ悪影響が起こり、火災の原因となることがあります。

⚠注意



- ・使用中は排気口近くに熱に弱いものを置かないでください。排気口から熱風が出るため、変形や事故の原因になります。

⚠注意



- ・本機の吸気口または排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

安全上のご注意

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠ 警告



- 電源プラグは交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外のコンセントを使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告



- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因となります。

⚠ 警告



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠ 警告



- 接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついているときは使用しないでください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついているときはサービス実施店に交換を依頼してください。

⚠ 警告



- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源プラグに焦げ跡がある
 - 電源プラグの刃が変形している
 - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
 - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
 - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
 - 電源コードの一部が熱くなる
 - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せず販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 延長コードやテーブルタップを使用するときは、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードやテーブルタップの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

⚠ 警告



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠ 注意



- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。電源コードは根元まで正しい向きでしっかり差し込んでください。発煙、発火、火災、感電の原因になります。

安全上のご注意

⚠注意



- 連休等で長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

⚠注意



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

⚠注意



- 電源コードや接続ケーブルは足を引っ掛けて転倒したりしないように配線してください。本機が落下してけがの原因となることがあります。

本体の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠警告



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがあるなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警告



- ・万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- ・近くで落雷が発生しているときは、本機に触らないでください。感電の原因になります。

⚠ 警告



- ・ポリ袋の WARNING 表示の意味は次のとおりです。
 - ・本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠ 警告



- ・機械を落としたり、カバーなどを破損したときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠ 注意



- ・電源オフ直後の本機（特に排気口、ランプの周りなど）は高温になっていますので触らないようにしてください。やけどの原因になることがあります。

⚠ 注意



- ・動作時にレンズの前に物を置かないでください。物が高温になり、やけどや火災の原因になる場合があります。映像を一時的に消す場合にはリモコンまたは本体のAVミュートをお使いください。

安全上のご注意

⚠注意



- 本機を他の機器に積み重ねたり、本機の上に他の機器を載せたりしないでください（同一モデルの積み重ねを除く）。本機内に熱がこもり故障の原因になるほか、他の機器へ悪影響を与えることがあります。

⚠注意



- 音声が出力される前に音量を上げすぎないでください。また、電源を切る前には音量を下げてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。

⚠注意



- 本機を長時間連続して（8時間/日を超えて）使用する場合は、あらかじめテクニカルコールセンターにご相談ください。

⚠注意

機械内部の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 機械内部の掃除をサービス実施店に相談してください。機械内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、機械内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。

天吊り・壁掛け設置について守っていただきたいこと

⚠ 警告



- ・天吊り・壁掛け設置しているときは、本機を清掃したり、部品の交換をしたりしないでください。落下によるけがの原因になります。
- ・天吊り・壁掛け設置しているときは、本機の清掃や部品の交換を販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

⚠ 警告



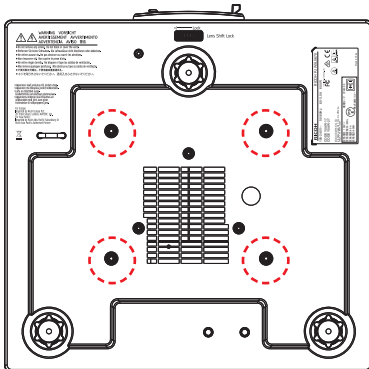
- ・本機为天吊り・壁掛け設置は、正しく設置されていないと落下などによる事故の原因となります。天吊り・壁掛け設置は、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。
- ・本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

お客様へ

- ・本機を天吊り・壁掛け設置するときは、お客様ご自身でせず販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

設置をされるかたへ

- ・本機の質量（約11.4kg）に耐えられる強度の金具を使用してください。
- ・本機と金具の総質量に耐えられる強度の場所だけに設置してください。
- ・金具の取り付けには、M4ねじ（プロジェクター内最大12mm）4本を使用してください。
- ・壁掛け・天吊り用のねじ穴は、本機底面の次の4カ所にあります。金具の取り付けにはすべてのねじ穴を使用して、ねじがしっかりと締まっているか確認してください。



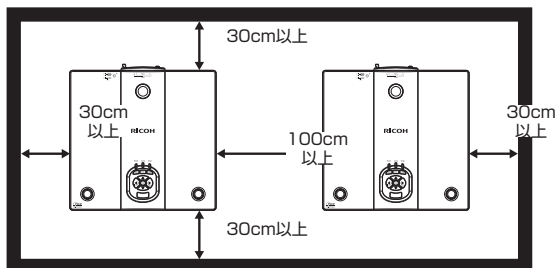
安全上のご注意

設置について守っていただきたいこと

⚠️注意



- 本機を並べて配置する場合プロジェクターを100cm以上離して設置してください。また、吸気・排気口と壁との間隔を30cm以上離して設置してください。プロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。



⚠️注意



- 本機を重ねて設置する場合3台以上重ねないでください。

⚠️警告



- 360度設置を行う場合は本機の設置は、正しく固定されていないと落下などによる事故の原因となります。販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

⚠️注意

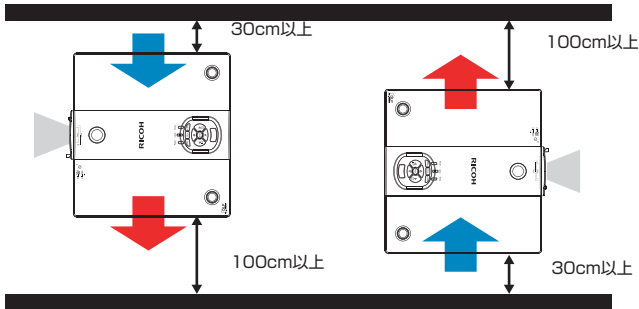


- 360度設置を行う場合、吸気・排気口と壁との間隔を30cm以上離して設置してください。プロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。

⚠ 注意



- 本機の吸気口・排気口が上下方向となる設置においては、吸気口と壁、天井、床の間隔を30cm以上、排気口と壁、天井、床との間隔を100cm以上離して設置してください。プロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。



電池について守っていただきたいこと

⚠ 警告



- 電池は、次の注意事項を守って安全に使用してください。電池の使い方を誤ると、電池の液もれや破裂により、火災やけがの原因になることがあります。
 - 指定された電池以外は使用しないでください。
 - 極性（+、-）を正しく入れてください。
 - 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まないでください。
 - +極と-極を針金などで接続しないでください。
 - 使い切った電池はリモコンからすぐに取り出してください。
 - 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

⚠ 警告



- 電池は、子供の手に触れないようにしてください。リモコンの電池カバーがはずれやすいときは、リモコンの使用をやめ、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って電池を飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

安全上のご注意

電池から液がもれたときの対処

- もれた液が肌に付着したときは、すぐに水で洗い流し、医師に相談してください。
- もれた液が手につかないように注意してティッシュペーパーなどで拭き取ってください。
- 液を拭き取ったティッシュペーパーなどは、水を含ませてから燃えるゴミとして廃棄してください。

電池を廃棄するとき

- 電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。

レーザー光源について守っていただきたいこと

⚠ 警告



- 光源が点灯中はレンズおよび通風口をのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を傷める原因となります。特にお子様のいる環境では注意してください。

⚠ 警告



- 本製品は IEC 60825-1 : 2014のクラス1レーザー製品でリスクグループ2の商品です。

⚠ 注意



- この製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に指定された以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被爆の原因となります。

⚠ 注意



- 光源点灯中に投写光をさえぎらないでください。投写光を長時間さえぎると投写光の当たった部分が高温になり、さえぎっている物に変質・変形したり、やけどや火災の原因となることがあります。また、反射した光で投写窓が高温になり、本機の故障の原因になることがあります。投写を一時的に中断するときはAVミュート機能をお使いください。また、長時間にわたって中断したいときは本機の電源を切ってください。

移動について守っていただきたいこと

⚠️ 注意



- 本機を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブルをはずしたことを確認してください。コードやケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

レーザー光源の注意

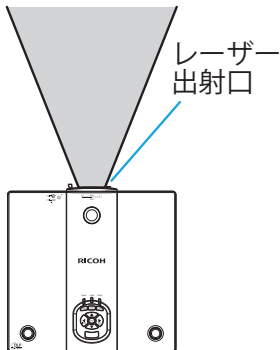
IEC 60825-1:2014 クラス1レーザー製品-リスクグループ2

レーザーの仕様

3.5W laser diodes × 38

波長 : 450-460nm

パルス幅 : 1.39ms



⚠️ 警告



- このプロジェクターは内部にレーザーモジュールがあります。今製品から出力される光は使用状況によっては強力な光となり、目に悪影響を及ぼす恐れがありますので、光源を直視しないでください。

⚠️ 注意



- 制御・調整、または本説明書に記述されている以外の手順を行うと、有害な放射線をあぶり可能性があります。

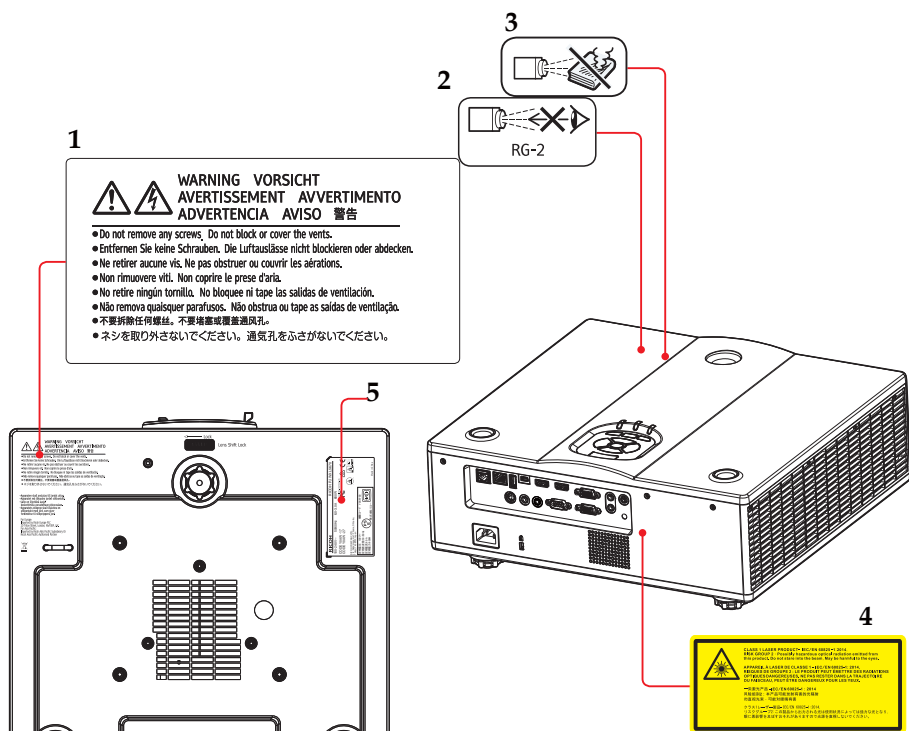
安全上のご注意

安全に関する本機の表示

本機に表示されている安全に関する情報です。

警告・注意のラベル位置について


本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、**⚠警告**、**⚠注意**のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。



1. ネジを取り外さないでください。通気孔をふさがらないでください。
2. 動作中はレンズをのぞかないこと。視力障害などの原因となります。
3. 動作時にレンズの前に物を置かないこと。
物が高温になり、やけどや火災の原因になる場合があります。
映像を一時的に消す場合にはリモコンまたは本体のAVミュートをお使いください。
4. 本製品はクラス1レーザー製品、リスクグループ2です。
5. 本製品を使用する際は、必ず本機の電源コードを本体のラベルおよび電源ケーブルで指定された電圧仕様に準拠しているコンセントに接続してください。

電源スイッチの記号

本機のスイッチに記されている記号の意味は以下のとおりです。

- ・ : オン/スタンバイの切り替え

使用上のお願い

本製品の取り扱いに関すること

- ・ 本製品を開梱したあとは、本書をよく読み、すべての操作手順およびその他の指示に従ってください。
- ・ 極端に気温の高低差がある、あるいは湿度の高い場所で使用しないでください。
- ・ 強力な磁場を発する機器の近くで使用しないでください。
- ・ 本機を持ち運ぶ際は以下の事項をお守りください。
 - ・ 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・ 端子からすべてのケーブルをはずしてください。
 - ・ 手で持ち運ぶ場合
 - ・ お買い上げの際に本機がはいっていた梱装箱や堅固なダンボール箱に入れてください。
 - ・ 輸送する場合
本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。衝撃による故障を防止するために次の事項をお守りください。
 - ・ 衝撃が伝わらないように本機の周囲を緩衝材などで保護してください。
 - ・ お買い上げの際に本機がはいっていた梱装箱や堅固なダンボール箱に入れてください。
 - ・ 精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。
 - ・ 不明な点は運送業者にご相談してください。
- ・ ゴムやビニール製品などの合成樹脂製品を長時間接触させないでください。外装が変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- ・ 本機を長時間連続して使用すると、故障や寿命を縮める原因となります。

お手入れに関すること

- ・ お手入れをする前に、本機の電源を切ってください。
- ・ 本体のお手入れには中性洗剤を浸したやわらかい布を使用してください。
- ・ ベンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。変形、変色、塗装がはげるなどの原因となります。
- ・ 研磨剤入り洗剤、ワックス、溶剤を使用しないでください。

安全上のご注意

- ・化学ぞうきんは使用しないでください。
- ・排気口や吸気口にたまったほこりなどは、定期的に取り除いてください。排気口や吸気口が目詰まりすると、本機内の空気の流れが悪くなり、故障の原因になることがあります。

映像の著作権について

次の行為は権利者に無断で行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

本機を使用するときは、著作者の権利を侵害しないよう注意してください。

- ・営利目的で映像などを投写する行為
- ・営利目的または公衆に視聴させる目的で、フリーズ、部分拡大、ズーム機能などを使用して、映像などを改変する行為
- ・営利目的または公衆に視聴させる目的で、画面サイズ切り換え機能を使用して、映像などの縦横比を改変する行為

3D映像の視聴について

3Dメガネを使用して本機で映像を視聴するときは、次の事項に注意してください。

- ・3D映像を視聴するには3Dメガネが必要です。本機は3Dメガネとの同期方式としてDLP Link方式を採用しています。DLP Link対応3Dメガネを使用してください。
- ・3D映像の見えかたには個人差があります。
- ・3D映像を視聴する以外の目的で3Dメガネを使用しないでください。
- ・3Dメガネの説明書をよく読んでから使用してください。また、視聴する3D映像ソフトの説明書も確認してください。
- ・3D映像を長時間連続して視聴しないでください。1時間視聴したら、15分以上休憩を取ることをお勧めします。
- ・3D映像の視聴中に体調に変化を感じたときは、すぐに視聴を中止してください。しばらくしても異常が直らないときは医師に相談してください。
- ・蛍光灯やLED照明などを使用している部屋で視聴すると、部屋全体の明かりがちらついて見えることがあります。そのときは、ちらつきが消えるまで明かりを暗くするか、明かりを消して視聴してください。
- ・光感受性発作を起こしたことがある、または家族に該当する人がいるときは、3D映像を視聴する前に医師に相談してください。
- ・3D映像を視聴するときは、スクリーンの正面に座り、左右の目の高さが同じになるような姿勢で視聴してください。
- ・スクリーンに近い距離で3D映像を視聴すると目に負担がかかります。投写画面の高さの3倍程度スクリーンから離れて視聴してください。
- ・子供が3Dメガネを使用するときは、必ず大人の監督のもとに使用してください。
- ・3D映像の視聴年齢は6歳以上を目安にしてください。健全な視覚発達に影響を及ぼす可

能性があります。使用する前に医師に相談することをお勧めします。

法律上の禁止事項

海外輸出規制

安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国により異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。

電波、高調波電流に関する事項

電波障害についての注意事項

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

高調波電流規格についての事項

高調波電流規格 JIS C61000-3-2適合品

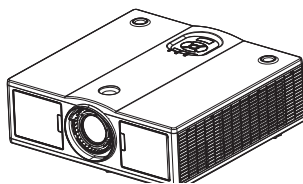
廃棄について

本機または使用済み電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。詳しくは地方自治体にお問い合わせください。

はじめに

同梱品の確認

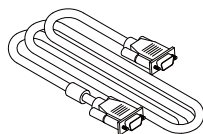
本製品には以下の同梱品が含まれます。ご使用前に同梱品がすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものがあるときは、すぐにお買い上げの販売店に連絡してください。



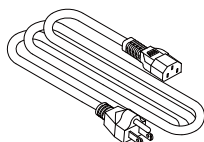
プロジェクター本体



リモコン
(単4電池つき)



RGBケーブル



電源コード



USBケーブル(*2)



CD-ROM (*1)

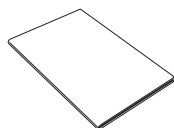
Note

※(*1) 付属のCD-ROMにはPDF形式のユーザーマニュアルとプロジェクター管理ユーティリティーが収録されています。

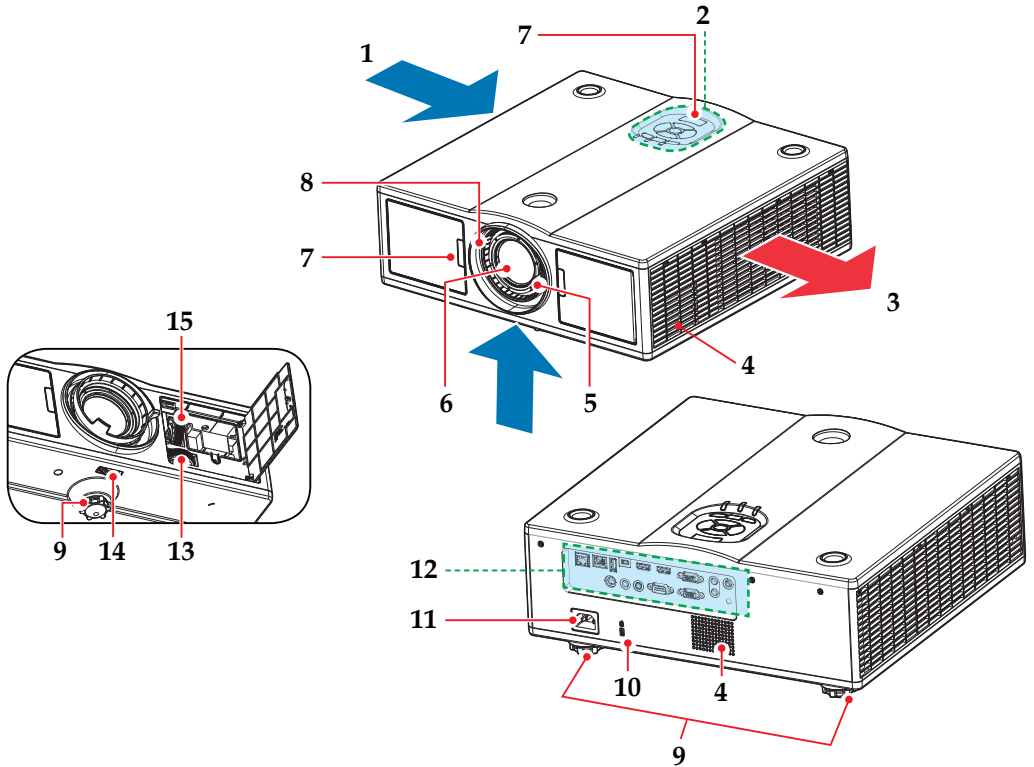
※(*2) USBケーブルはHDMIドングル使用時の電源供給用です。

はじめにお読みください

- 保証書
- お客様登録はがき
- マイバンク & QA登録票
- 個人情報保護確認書
- リコーテクニカルコールセンターシール



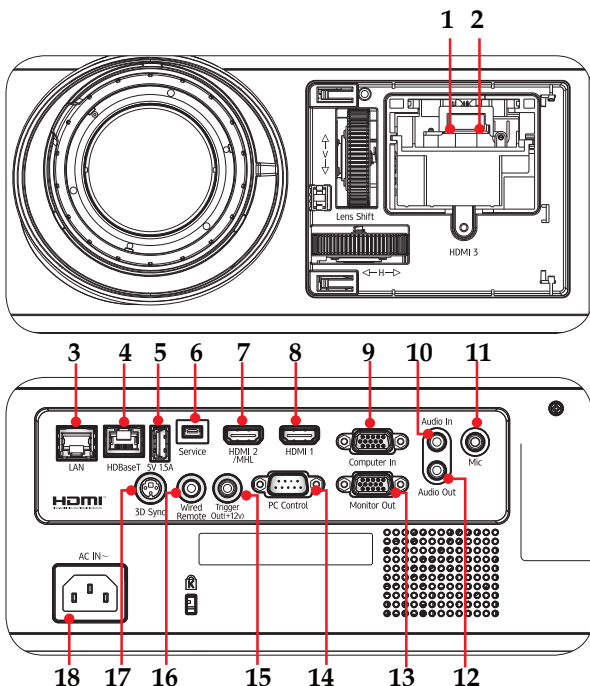
本体各部の名称



1. 吸気口
2. 本体操作部
3. 排気口
4. スピーカー
5. ズームレバー
6. レンズ
7. リモコン受光部
8. フォーカスリング
9. アジャスタブルフット
10. 盗難防止ロック穴 (ケンジントン™ ロック)
11. AC ソケット
12. 入出力端子
13. レンズシフト (水平)
14. レンズシフトロック
15. レンズシフト (垂直)

はじめに

入出力端子

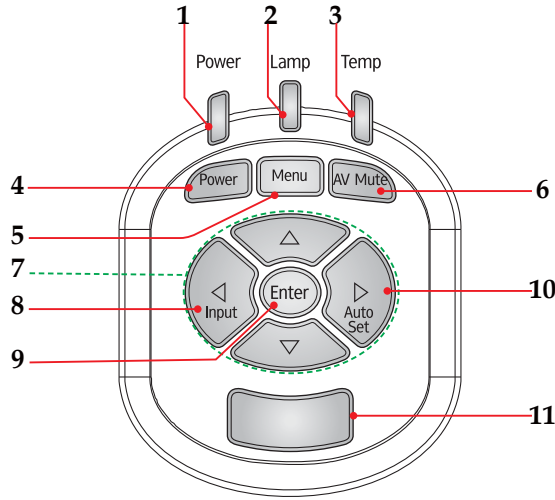


補足

❖ (*) モニター出力は
Computer In の信号
のみ対応

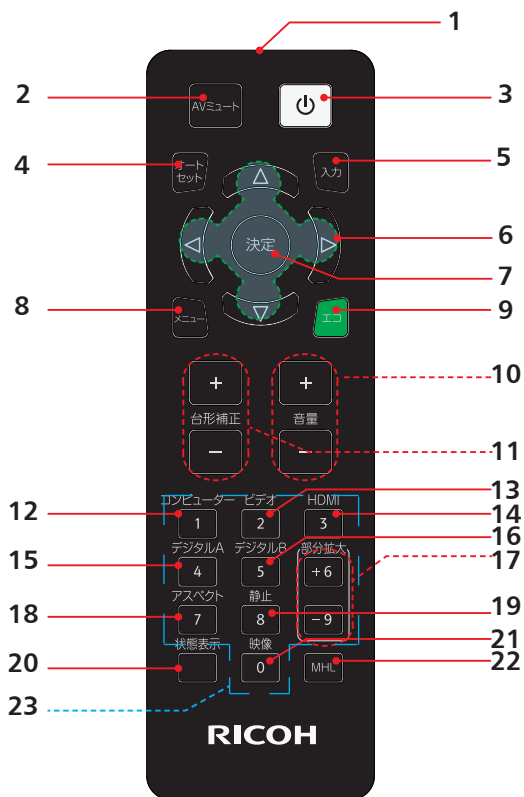
- | | | |
|-----|--------------------------------|-------------------|
| 1. | HDMI3 入力端子 (HDMI/MHL ドングル用途) | HDMI3 |
| 2. | 5V 1.5A 出力端子 (HDMI/MHL ドングル用途) | 5V 1.5A |
| 3. | LAN コントロール端子 | LAN |
| 4. | HDBaseT 端子 HDMI1/MHL 入力端子 | HDBaseT |
| 5. | 5V 1.5A 出力端子 | 5V 1.5A |
| 6. | サービス用端子 | Service |
| 7. | HDMI2/MHL 入力端子 | HDMI2/MHL |
| 8. | HDMI1 入力端子 | HDMI1 |
| 9. | コンピューター 入力端子 | Computer In |
| 10. | 音声入力端子 | Audio In |
| 11. | マイク入力端子 | Mic |
| 12. | 音声出力端子 | Audio Out |
| 13. | モニター出力端子 (*) | Monitor Out |
| 14. | PC 制御端子 | PC Control |
| 15. | 同期出力端子 (+12V) | Trigger Out(+12v) |
| 16. | 有線リモコン端子 | Wired remote |
| 17. | 3D 端子 | 3D Sync |
| 18. | AC IN ソケット | AC In |

本体操作部



1	電源インジケータ (Power)	電源の状態を表示します。
2	ランプインジケータ (Lamp)	光源の状態を表示します。
3	温度インジケータ (Temp)	内部の温度状態を表示します。
4	電源 (Power)	「電源の入れかたと切りかた」の章を参照してください。(34～35 ページ参照)
5	メニュー (Menu)	調整用のメニューを表示したり、メニューをひとつ前の表示に戻したりします。(42 ページ参照)
6	AV ミュート (AV Mute)	音声と映像を一時的に消します。もう一度押すともとに戻ります。
7	4 方向選択キー	▲、▼、◀、▶で項目の選択や調整をします。
8	入力 (Input)	入力信号を選択します。
9	決定 (Enter)	設定を選択または確定します。
10	自動調整 (AutoSet)	入力された信号に対して映像を自動的に最適に設定します。
11	リモコン受光部	

リモコン



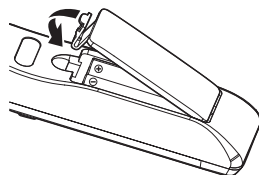
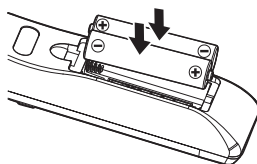
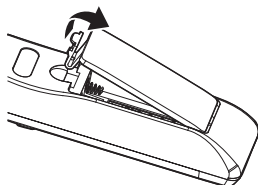
1	送信部	信号を送信します。
2	AV ミュート	音声と映像を一時的に消します。もう一度押すともとに戻ります。
3	電源	「電源の入れかたと切りかた」の章を参照してください。(34～35ページ参照)。
4	自動調整	入力された信号に合わせて映像を自動的に最適に設定を行います。
5	入力	入力信号を切り替えます
6	4方向選択キー	▲、▼、◀、▶で項目の選択や調整をします。

7	決定	設定を選択または確定します。
8	メニュー	調整用のメニューを表示します。また、サブメニューが表示されているときに、ひとつ前の画面に戻ります。(42ページ参照)
9	エコ	「レーザー電力モード」メニューを表示します。
10	音量+ / -	スピーカーの音量を調整します。
11	台形補正	本機の傾きによって起こる台形歪みの補正をします。
12	コンピューター	映像信号をコンピューター入力に切り替えます。
13	ビデオ	本機では使用しません
14	HDMI	映像信号をHDMI1、HDMI2/MHL,HDMI3に切り替えます。
15	デジタル A	映像信号をHDBaseTに切り替えます。
16	デジタル B	本機では使用しません。
17	部分拡大+ / -	映像の一部を拡大します。 拡大した映像を縮小します。 (部分拡大)
18	アスペクト	表示する画面のアスペクト比を切り換えます。
19	静止	映像を静止します。もう一度押すと元に戻ります。
20	状態表示	本機の動作状態を表示します。
21	映像	設定済みの映像モードを切り替えます。
22	MHL	MHL 入力接続中に本ボタンを押すとMHL コントロールモードに入ります。リモコンの4方向選択キー等を用いてMHL 機器のコントロールを行います。
23	数字キー	数字入力に使用します。

リモコンの電池

初回使用時

- ① 電池ボックスのロック解除ボタンを押しながら、電池カバーを取ります。
- ② 新品の電池をセットします。(単4電池)
- ③ 電池カバーをセットして、カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



電池交換

電池交換時は上記2の手順で古い電池を取り除いて新しい電池をセットします。



安全に使用するため、以下のことに注意してください：

- 電池を火の中に投げたりしないでください。
- 電池を飲み込んだりしないでください。火傷の恐れがあります。
- 新品、使用済みに関わらず、電池は子どもの手の届かない場所に保管してください。

詳細については14ページを参照してください。

リモコンID

本岐ではリモコン ID が設定できます。本機とリモコンの ID を一致させることでリモコンの操作ができます。リモコン ID の設定には専用のリモコンが必要です。リモコン ID が設定できる専用リモコンについては、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

本体の ID の設定は 57 ページを参照してください。

リモコン ID を設定します。

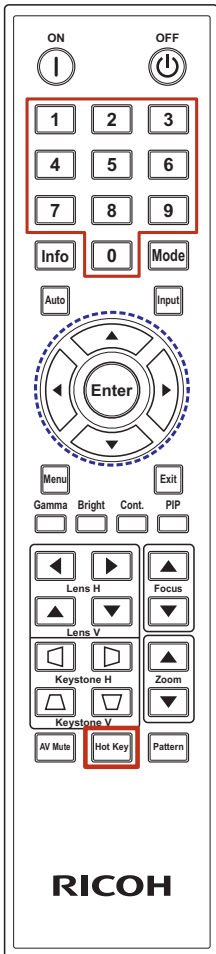
1. ID コードを 0 に設定すると、全ての ID のプロジェクターを操作できます。
2. ID コードを 1～99 に設定すると、ID が一致するプロジェクターのみ操作できます。

ID 設定："HotKey" を 3 秒間押し続け、話したのち 2 秒以内に設定したい番号をテンキーから入力します。(01～99)

ID 解除："HotKey" を 3 秒間押し続け、話したのち 2 秒以内に "00" を入力します。

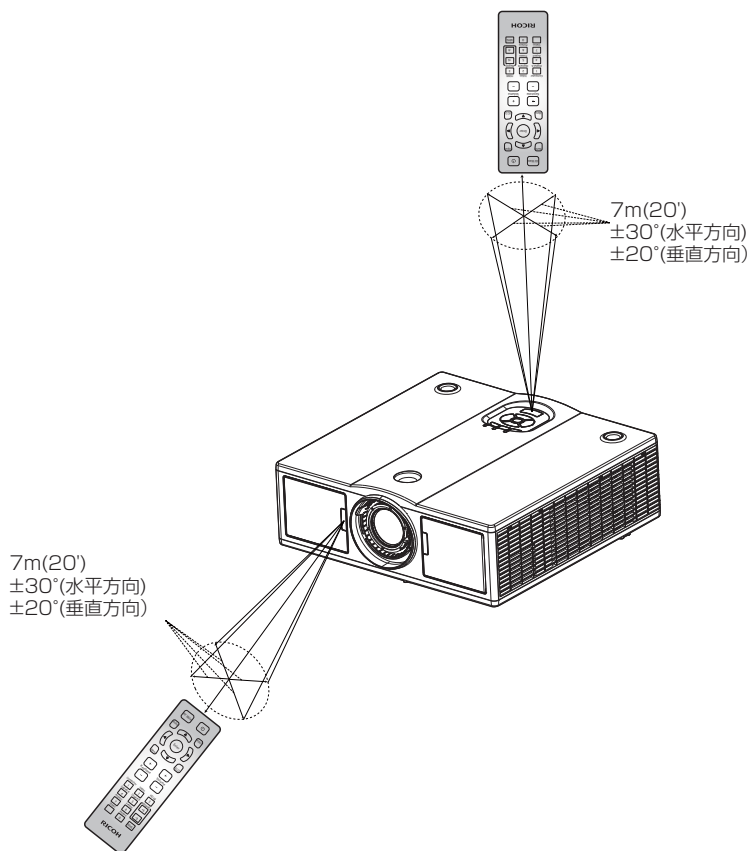
ID とリモコンコードの関係は以下の表になります。

リモコンID	コード
01	0010
02	0011
03	0012
.....
10	0019
11	001A
....
98	0071
99	0072



リモコンの有効操作範囲

ボタンを押すときに、リモコンを本機（リモコン受光部）に向けて操作します。リモコンの最大操作範囲は本機の前方向約 7m（23 フィート）、
± 30°（水平方向）、
± 20°（垂直方向）です。

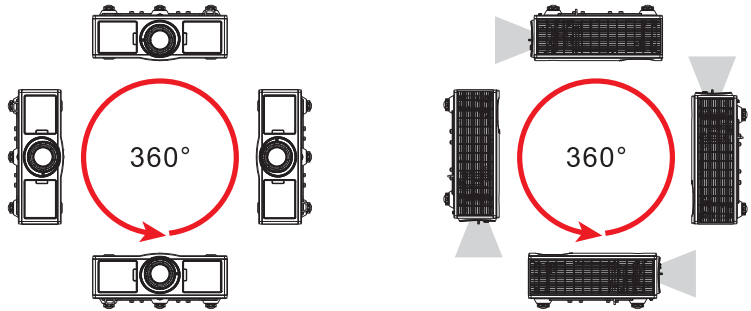


360度設置について

本機は、360度方向の投影が可能です。

本機の質量に耐えられる強度の金具を使用してください。

また、プロジェクターがしっかりと固定されていることを確認してください。



基本的な操作

接続する コンピューター/ノートパソコンと接続する

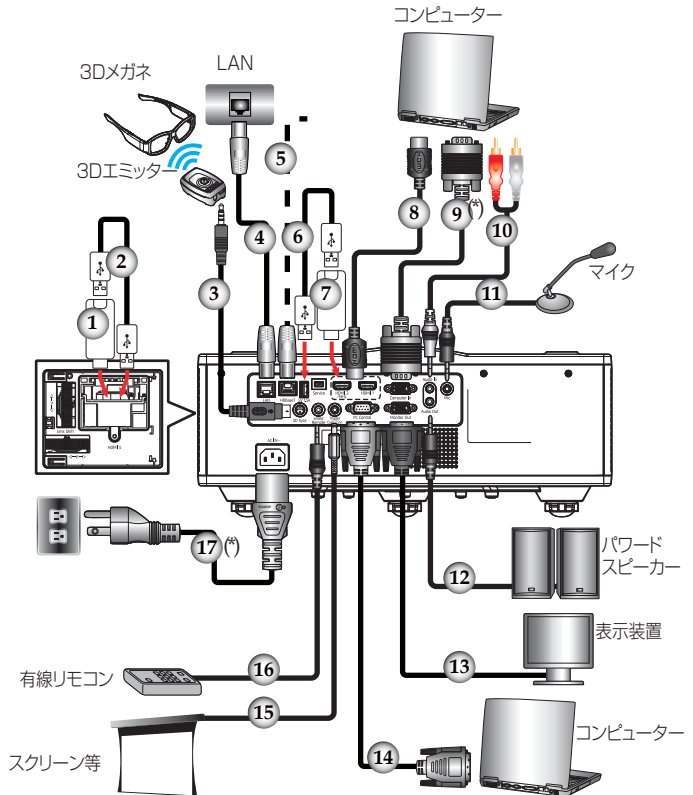
補足

❖ 電源プラグがきちんと本機の AC IN ソケットとコンセントの両方に差し込まれているか確認します。

❖ 電源プラグは、本機を設置する場所の最寄りのコンセントに差し込み、常に手の届く状態にしておいてください。

補足

❖ 「モニター出力 (スタンバイ)」が「オフ」の場合は、プロジェクターがスタンバイモードに移行するとモニター出力と音声出力がオフになります。



1.....HDMI ドングル	10.....音声ケーブル
2.....USB ケーブル	11.....マイクロフォン
3.....3D エミッターケーブル	12.....音声ケーブル
4.....LAN ケーブル	13.....モニター出力ケーブル
5.....LAN ケーブル (Cat.5 以上)	14.....RS-232C ケーブル
6.....USB ケーブル	15.....トリガーケーブル
7.....HDMI ドングル	16.....有線リモコンケーブル
8.....HDMI ケーブル	17.....電源コード (同梱品)
9.....RGB ケーブル (同梱品)	

❖ 信号を正しく表示するために、接続するコンピューターの表示モード (解像度およびリフレッシュレート) が、本機が対応しているものであることを確認してください。(83~86 ページ参照)

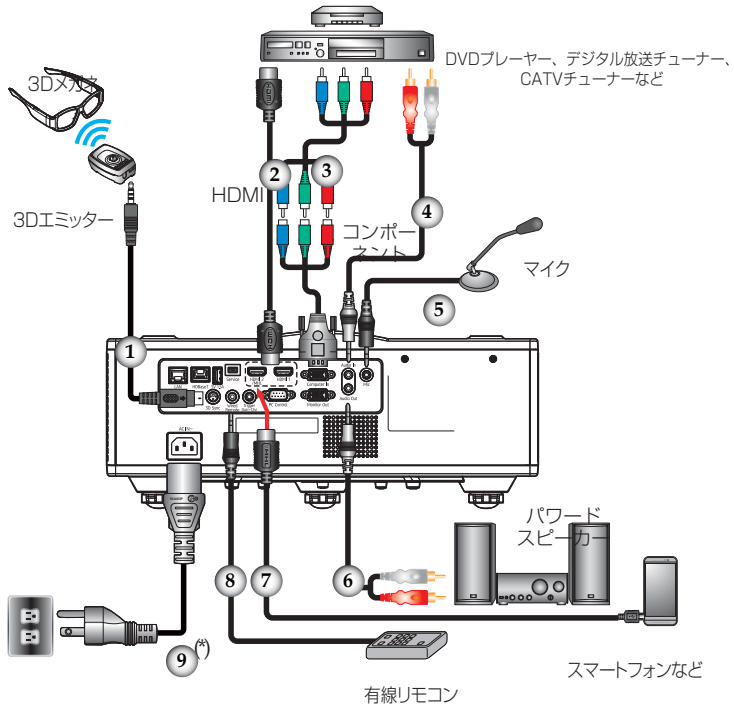
❖ (*) 性能を保つため、必ず同梱されているケーブルを使用してください。

映像機器と接続する

補足

❖ 電源プラグがきちんと本機の AC IN ソケットとコンセントの両方に差し込まれているか確認します。

❖ 電源プラグは、本機を設置する場所の最寄りのコンセントに差し込み、常に手の届く状態にしておいてください。



補足

❖ HDMI 入力を選択されていると、HDMI 信号に含まれる音声のみを出力します。

❖ スマートフォンなどは MHL に対応した機器を使用してください。

- | | |
|--------|------------------|
| 1..... | 3Dエミッターケーブル |
| 2..... | HDMI ケーブル) |
| 3..... | コンポーネント→RGB ケーブル |
| 4..... | 音声ケーブル |
| 5..... | マイクロフォン) |
| 6..... | 音声ケーブル |
| 7..... | MHL ケーブル |
| 8..... | 有線リモコンケーブル |
| 9..... | 電源コード (同梱品) |

❖ (*) 性能を保つため、必ず同梱されているケーブルを使用してください。

基本的な操作



電源の入れかたと切りかた

電源を入れる

警告：光源点灯中はレンズをのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を傷める原因となります。

注意：本機の吸気口または排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となります。

注意：排気口の近くや本体の下に手や顔を近づけたり、物を置かないでください。けがや機器の故障の原因となります。

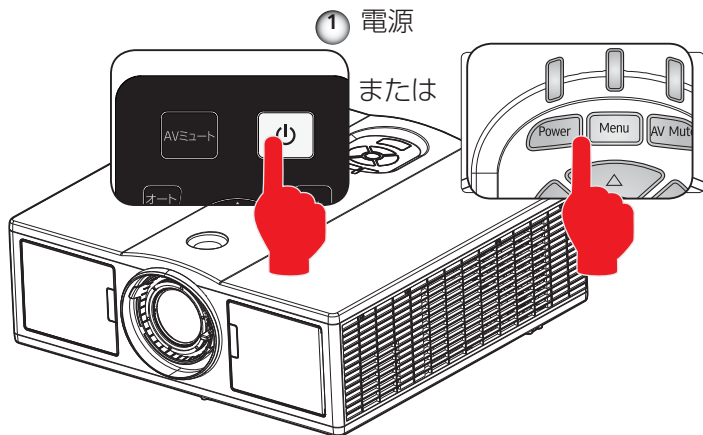
1. 電源コードと信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認します。電源コードをコンセントと本機に接続すると電源インジケータが赤色に点灯します。
2. 本体操作部またはリモコンの[電源]を押して、レーザー光源を点灯します。① 電源インジケータが赤色に点滅します。
約5秒後にスタート画面が表示されます。スタート画面が消えると、電源インジケータが青色に点灯します。
3. プロジェクターを初めて使用する際は、表示言語の選択画面が表示されます。信号源（コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど）の電源を入れて下さい。本機が自動的に信号を検出します。
自動的に検出できないときは、[自動入力検索]が[入]に設定されていることを確認してください。

Note

❖ 同時に複数の信号を接続している場合は、[入力]を押して信号を切り替えてください。

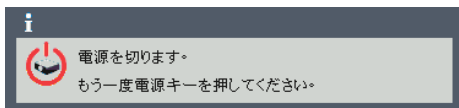
Note

❖ 本機の電源を最初に入れてから信号源の電源を入れます。



電源を切る

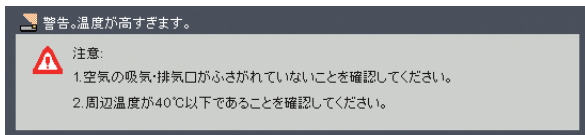
1. [電源] を押すと、画面に以下のメッセージが表示されます。



2. もう一度 [電源] を押すと、レーザー光源が消えます。
3. 光源が消灯した後も、冷却ファンは 30 秒間動作を続けます。この間、電源ランプが青く点滅します。冷却が終了すると電源ランプは消灯して、本機はスタンバイモードに入ります。
本機の電源を再度入れるときは、本機の冷却が完了し、スタンバイモードに入るまでお待ちください。スタンバイモードに入った状態で [電源] を押すと、プロジェクターが再起動します。
4. 電源コードをコンセントと本機から抜きます。

インジケーターによる警告表示

- ❖ 温度インジケーター (Temp) が赤色に点灯したときは、本機の内部が過熱しています。以下のメッセージが表示されたあとに電源が自動的に切れます。



- ❖ 温度インジケーターが赤色に点滅（0.5 秒点灯、0.5 秒消灯）して以下のメッセージが表示されたときは、冷却ファンに異常があります。すぐに本機の使用を止めて、電源コードをコンセントから抜き、お近くの販売店に連絡してください。



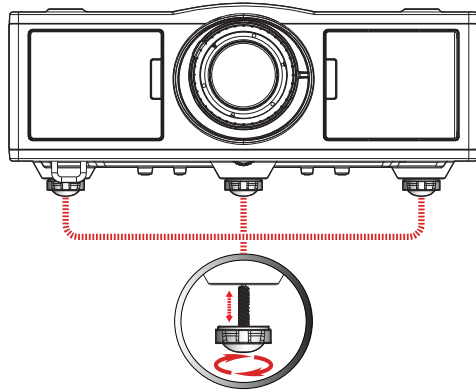
警告インジケーターの詳細については、80ページを参照してください。

投写映像を調整する

投写映像の位置を調整する

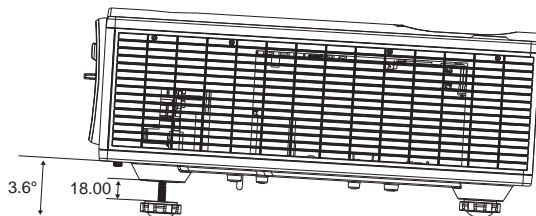
本機のアジャスタブルフットを調整して、投写映像の上下位置や傾きを調整できます。

1. 調整したいアジャスタブルフットの位置を確認します。
2. アジャスタブルフットの調整リングを時計回りに回すとプロジェクターの位置を高く、反時計回りに回すと低く調整できます。必要に応じて、残りのアジャスタブルフットを調整してください。



補足

※ アジャスタブルフットを回転させると、約3.6度まで傾けられます。



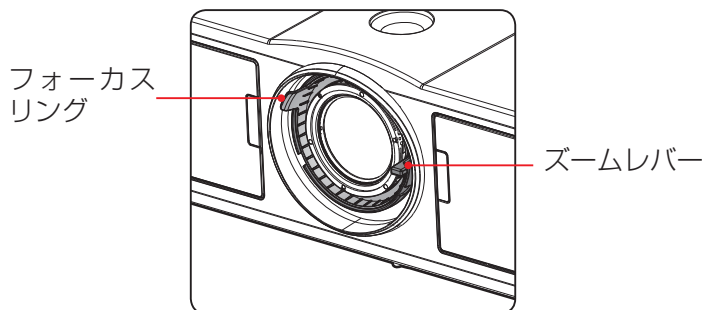
基本的な操作

画面の大きさとピントを調整する

ズームレバーを回して投写画面の大きさを調整します。映像のピントを合わせるには、映像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。

ピントが合う距離は以下のとおりです。

- ▶ RICOH PJ WXL5670 : 1.4~9.6m
- ▶ RICOH PJ WUL5670 : 1.3~9.2m



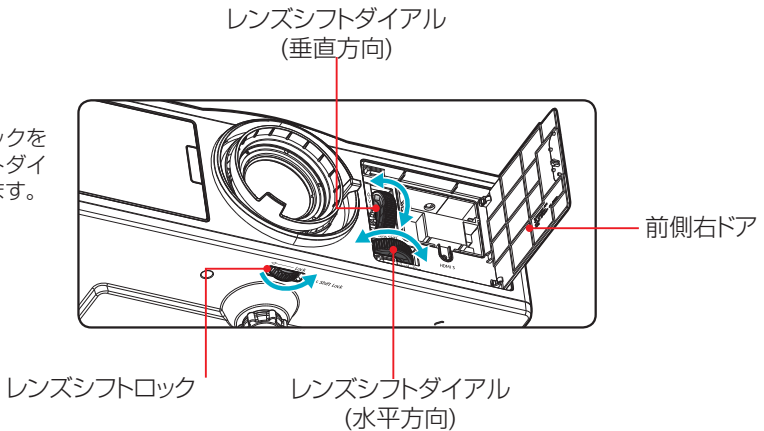
レンズシフト調整

レンズシフトを使用して投写位置の調整を行う場合は以下の様に実施します。

1. 本体前側の右ドアをあけます。
2. 本体下面にあるレンズシフトロックが解除されていることを確認します。
3. 投写映像の位置を確認しながら、レンズシフト(垂直方向)、レンズシフト(水平方向)の各ダイヤルを回して投写映像の位置を調整します。
4. レンズシフトロックダイヤルをロック方向に回して固定します。
5. 本体前側の右ドアを閉じます。

補足

❖ レンズシフトロックをしてもレンズシフトダイヤルは多少動作します。



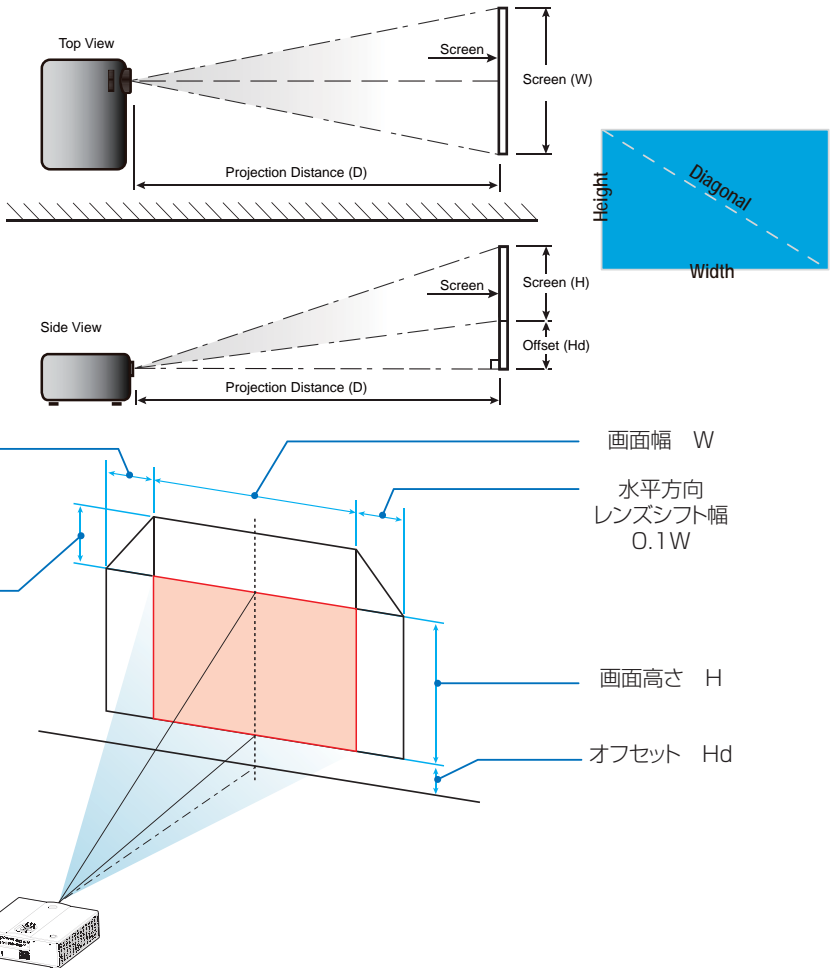
基本的な操作

投写映像の大きさを調整する

投写映像の大きさは、ズームレバー(p.37)と投写距離で調整します。

投写できる映像の大きさ(対角長)は以下のとおりです。

- ▶ RICOH PJ WXL5670
0.7~7.6 m (30~300 型)
- ▶ RICOH PJ WUL5670
0.7~7.6 m (30~300 型)



RICOH PJ WXL5670

画面サイズ (型) 16:10	画面サイズ 幅×高さ		投写距離 (D)		オフセット (Hd)	
	(m)		(m)		(cm)	
	幅	高さ	広角	望遠	最小	最大
30	0.65	0.40	-	1.4	2.0	10.0
50	1.08	0.67	1.4	2.4	3.4	16.8
60	1.29	0.81	1.6	2.9	4.1	20.3
70	1.51	0.94	1.9	3.4	4.7	23.5
80	1.72	1.08	2.2	3.9	5.4	27.0
90	1.94	1.21	2.4	4.3	6.1	30.3
100	2.15	1.35	2.7	4.8	6.8	33.8
120	2.58	1.62	3.3	5.8	8.1	40.5
150	3.23	2.02	4.1	7.2	10.1	50.5
180	3.88	2.42	4.9	8.7	12.1	60.5
200	4.31	2.69	5.4	9.6	13.5	67.3
250	5.38	3.37	6.8	-	16.9	84.3
300	6.46	4.04	8.1	-	20.2	101.0

❖ 参考値

RICOH PJ WUL5670

画面サイズ (型) 16:10	画面サイズ 幅×高さ		投写距離 (D)		オフセット (Hd)	
	(m)		(m)		(cm)	
	幅	高さt	広角	望遠	最小	最大x
30	0.65	0.40	-	1.4	0.0	8.0
50	1.08	0.67	1.3	2.3	0.0	13.4
60	1.29	0.81	1.6	2.8	0.0	16.2
70	1.51	0.94	1.8	3.2	0.0	18.8
80	1.72	1.08	2.1	3.7	0.0	21.6
90	1.94	1.21	2.3	4.1	0.0	24.2
100	2.15	1.35	2.6	4.6	0.0	27.0
120	2.58	1.62	3.1	5.5	0.0	32.4
150	3.23	2.02	3.9	6.9	0.0	40.4
180	3.88	2.42	4.6	8.3	0.0	48.4
200	4.31	2.69	5.2	9.2	0.0	53.8
250	5.38	3.37	6.4	-	0.0	67.4
300	6.46	4.04	7.7	-	0.0	80.8

❖ 参考値

各種設定のしかた

メニューを使う

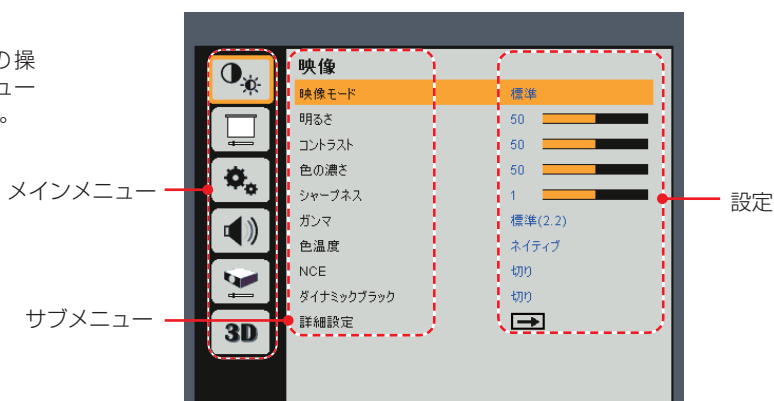
メニューを表示させて、映像などの調整や、各種設定の変更ができます。

操作のしかた

1. メニューを開くには、本体またはリモコンの [メニュー] を押します。
2. メニューが表示されたら、▲ または ▼ でメインメニューの項目のいずれかを選択します。調整したい項目が表示されたら、▶ または [決定] を押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ でサブメニューの項目のいずれかを選択し、▶ または [決定] を押して設定項目を表示します。設定を調整するには、◀ ▶ または ▲ ▼ を使用します。
4. サブメニューで次に調整したい項目を選択して、前述の方法で設定を調整します。
5. 変更を確定するには、[決定] または [メニュー] を押します。直前に選択していたメニュー画面に戻ります。
6. 設定操作を終了するには、もう一度 [メニュー] を押します。メニューが閉じて、変更した設定が自動的に保存されます。

補足

❖ 10 秒間ボタンの操作をしないと、メニューは自動的に消えます。

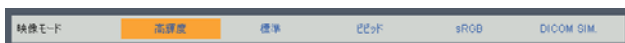




映像調整

映像モード

映像モードを選びます。▲ または ▼ で項目を選択します。



- ▶ 高輝度：明るさを重視したモードです。
- ▶ 標準：明るさと色の再現性のバランスがとれたモードです。
- ▶ Vivid：色を強調したモードです。
- ▶ sRGB：sRGB に準拠したモードです。
- ▶ DICOM SIM：DICOM 規格に近似したモードです。

明るさ

映像の明るさを調整します。



- ▶ ◀ で映像を暗くします。
- ▶ ▶ で映像を明るくします。

コントラスト

映像の最も明るい部分と暗い部分の輝度の差を変更して、映像に含まれる黒と白の強さを調整することができます。



- ▶ ◀ でコントラストを弱くします。
- ▶ ▶ でコントラストを強くします。

色の濃さ

映像の色の濃さを調整します。



- ▶ ◀ で映像の色を薄くします。
- ▶ ▶ で映像の色を濃くします。

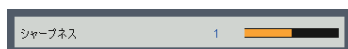
各種設定のしかた

補足

※「シャープネス」、「色の濃さ」、「色彩」調整機能は、ビデオ /Sビデオ信号以外の入力時は使用できません。

シャープネス

映像のシャープネスを調整します。



▶ ◀ でシャープネスを弱くします。

▶ ▶ でシャープネスを強くします。

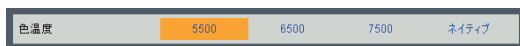
ガンマ

映像のガンマ調整を行います。1.8、2、標準(2.2)、2.4、Shine から選択します。



色温度

5500/6500/7500/の中から色温度を選び、それに合わせて映像を調整します。5500では暖色系、7500では寒色系の色合いとなります。ネイティブを選ぶと明るさ優先の設定になります。



NCE

この設定を入りにすることで、色を強調する事ができます。



ダイナミックブラック

この設定を入りにすることで、映画等の明部と暗部を強調する事ができます。



詳細設定

映像設定を詳細に調整する事が出来ます。



壁色補正

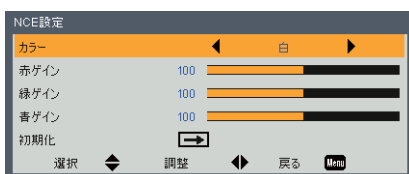
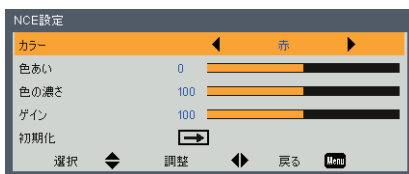
ホワイト/ライトイエロー/ライトブルー/ダークグリーンの中から壁色を選び、それに合わせて映像を最適化します。



各種設定のしかた

NCE設定

映像のカラーバランスを調整します。



- ▶ カラー： ◀や▶ を押して調整する色を選びます。
赤・緑・青・シアン・マゼンタ・黄・白色から選びます。
 - ・ 赤・緑・青・シアン・マゼンタ・黄を選ぶと、色合い、色の濃さゲインを調整できます。
 - ・ 白色を選ぶと、赤、緑、青の色の強さを調整できます。

< 白以外のカラーでは >

- ▶ 色あい： ◀や▶ を押して色合いを調整します。
- ▶ 色の濃さ： ◀や▶ を押して色の濃さを調整します。
- ▶ ゲイン： ◀や▶ を押してゲインを調整します。

< カラーに白を選んだら >

- ▶ 赤： ◀や▶ を押して赤の強さを調整します。
- ▶ 緑： ◀や▶ を押して緑の強さを調整します。
- ▶ 青： ◀や▶ を押して青の強さを調整します。

- ▶ 初期化：NCE 設定を工場設定値に戻します。”はい”でリセットします。”キャンセル”でNCE 設定に戻ります。



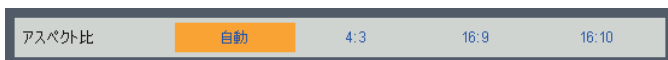
各種設定のしかた



スクリーン

アスペクト比

画面のアスペクト比を選択します。



- ▶ 自動：適切な画面のアスペクト比を自動的に選択します。入力信号が 4:3 の時はアスペクト比 4:3 の映像を、16:9 またはそれ以上の時はアスペクト比 16:9 の映像を表示します。
- ▶ 4:3：アスペクト比 4:3 で表示します。
- ▶ 16:9：アスペクト比 16:9 で表示します。(HDTV や DVD からの映像を表示するときに選びます)
- ▶ 16:10：アスペクト比 16:10 で表示します。

補足

※「サンプリング位相」、「サンプリング周波数」、「水平位置」と「垂直位置」は、コンピューター信号入力時しか調整できません。

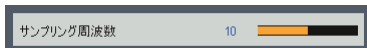
サンプリング位相

◀または▶で、画面の水平方向に表示するドット数をお使いのコンピューターの出力解像度に合わせて調整します。



サンプリング周波数

◀または▶で細かい線を表示したときの周期的な模様や、ちらつきをなくします。



水平位置

投写する映像の水平位置を調整します。



- ▶ ◀で映像を左に移動させます。
- ▶ ▶で映像を右に移動させます。

各種設定のしかた

垂直位置

投写する映像の垂直位置を調整します。



- ▶ ◀ で映像を下に移動させます。
- ▶ ▶ で映像を上を移動させます。

台形補正

本体の傾きによって起こる台形歪みの補正ができます。



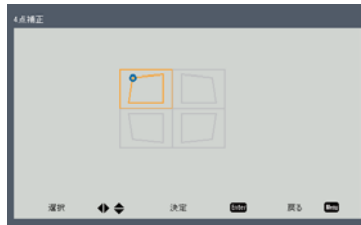
- ▶ 垂直台形補正：垂直方向の台形補正を行います。



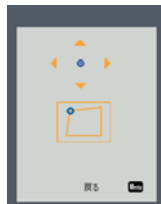
- ▶ 水平台形補正：水平方向の台形補正を行います。



- ▶ 4点補正：4つのコーナーを基点としたゆがみ補正を行います。
1) ▲ または ▼ で補正の基点とするコーナーを選択し
決定キーを押して、サブメニューに入ります。



- 2) ◀ ▶ または ▲ ▼ で調整を行います。



各種設定のしかた

- ▶ 初期化：すべての設定を出荷時に戻します。(台形補正なし)。

設置状態

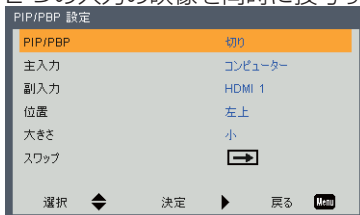
プロジェクターの設置方法に合わせて投写モードを設定します。



- ▶ 標準
工場出荷時の初期設定です。映像が画面に正立して投写されます。
- ▶ 背面
映像の左右が反転して投写されます。透過スクリーンの裏側に設置するときを使用します。
- ▶ 天吊り
映像の上下が反転して投写されます。天井に逆さに吊って設置するときを使用します。
- ▶ 背天吊
映像の上下左右が反転して投写されます。透過スクリーンの裏側から天井に逆さに吊って設置するときを使用します。

PIP(ピクチャーインピクチャー) ／PBP(ピクチャーバイピクチャー)

2つの入力の映像を同時に投写するための設定をします。



- ▶ PIP/PBP：2画面の表示方法を設定します。



PIPを選択すると全画面で表示される主映像内に副映像が配置されます。
PBPを選択すると主映像が左、副映像が右に並んで表示されます。

- ▶ 主入力：主入力を選びます。

補足

- ❖ PIP/PBPでは以下の入力の組み合わせは投写出来ません。
 - ・HDMI1 × HDBaseT
 - ・HDMI2 × HDMI3
- ❖ PIP/PBPは3Dをオンにするとキャンセルされます。
- ❖ PIP/PBPはブルーレイ3D信号を検出するとキャンセルされます。
- ❖ 主映像の音声が出力されます。

各種設定のしかた



- ▶ 副入力：副入力を選びます。



- ▶ 位置：副映像の表示位置を選びます。PIP 時有効です。



- ▶ 大きさ：副映像の大きさを指定します。PIP 時有効です。



- ▶ スワップ：主映像と副映像を逆転させます。PBP の時は左右の映像が入れ替わります。同時に音声も切り替わります。

詳細設定



- ▶ 部分拡大

投写する映像の一部分を拡大して表示します。



◀ を押すと、拡大率が低くなります。

▶ を押すと、拡大率が高くなります。

- ▶ RGB 入力レンジ

HDMI 映像信号入力レンジを選択します。

各種設定のしかた

補足

❖ 「RGB 入力レンジ」と「HDMI EQ」HDMI 入力以外では使用できません。



- 自動：RGB 入力レンジを自動的に検出します。
- 標準：標準的なHDMI 映像機器と接続するときを選びます。
- フル：コンピューターからの信号や、フルレンジに設定された映像機器からの信号を入力するときを選びます。

- ▶ HDMI イコライザー
長いケーブルなどを使用した時に、HDMI が正常に投写できない場合、この設定の調整を試してください。



- ▶ テストパターン
テストパターンを表示します。
グリッド(格子)、白色、カラーバーからパターンを選びます。



各種設定のしかた



設定

言語

メニューの表示言語を選択します。[決定]を押してサブメニューに入り、▲、▼、◀、▶キーで言語を選択します。[決定]を押して選択を確定します。



補足

❖ 「自動電源オフ(分)」の初期設定値は20分です。

無信号電源オフ(分)

本機に入力されている信号が無信号になってから自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。「0」を選ぶと無信号になっても電源は切れません。



補足

❖ モニター出力はコンピューター入力のみ出力できます。

モニター出力(スタンバイ)

スタンバイ時のモニター出力のオン/オフを切り替えます。

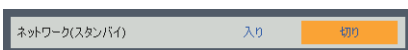
- ▶ 入：スタンバイ時にモニター出力を使用できます。
- ▶ 切：スタンバイ時はモニター出力を使用できません。スタンバイ時の消費電力を低減できます。



ネットワーク(スタンバイ)

スタンバイ時のネットワークコントロールのオン/オフを切り替えます。

各種設定のしかた



- ▶ 入：スタンバイ時にネットワークからのコントロールが可能となります。
- ▶ 切：スタンバイ時はネットワークからのコントロールが使用できません。スタンバイ時の消費電力を低減できます。

ネットワーク

ネットワークコントロール設定を行います。設定に当たっては必ずネットワーク管理者の指示に従ってください



- ▶ 状態：状態を表示します。
- ▶ DHCP: DHCPのオン・オフを切り替えます。▶で変更します。



- ▶ IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS：DHCPが「入」の時それぞれの値を表示します。DHCPが「切」の時▶で変更します。
- ▶ 反映：DHCP・IPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイの設定を変更した値に設定します。▶キーで設定します。
- ▶ MACアドレス：MACアドレスの情報を表示します。

補足

※「適用」の操作をするまでは変更した値は反映されません。

セキュリティー

セキュリティー設定を行います。



各種設定のしかた

- ▶ セキュリティー：オンにするとプロジェクター電源オン時のセキュリティコード入力が必要になります。オフにするとセキュリティコードの入力は不要になります。
セキュリティコードはリモコンの数字キーで入力します。



- ▶ パスワード変更：パスワードの変更ができます。



補足

❖ 初期パスワードは123456です。

初期化

調整と設定を工場出荷時の初期設定値に戻します。「はい」を選択すると、全てのメニュー項目の設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。レーザー使用時間と言語は初期設定に戻りません。



LAN 制御機能のパスワード等もリセットされます。リセット後必要に応じて再設定してください。

各種設定のしかた



音量

ミュート

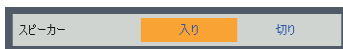
音声出力を一時的にオフにします。



- ▶ 「入」を選択すると、スピーカー出力を消音します。
- ▶ 「切」を選択すると、ミュートを解除します。

スピーカー

内蔵スピーカーの入り／切りを切り替えます。



- ▶ 「入」を選択すると、音声出力と内蔵スピーカーから音声を出します。
- ▶ 「切」を選択すると、音声出力のみ音声を出力します。

音量

音量を調整します。



- ▶ ◀ を押すと、音量が下がります。
- ▶ ▶ を押すと、音量が上がります。

マイク音量

マイクの音量を調整します。



- ▶ ◀ を押すと、音量が下がります。
- ▶ ▶ を押すと、音量が上がります。

補足

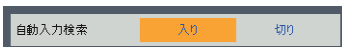
❖ 「ミュート」機能は、内蔵および外部スピーカーの両方に働きます。



オプション

自動入力検索

「入」を選択すると、表示中の入力信号が途絶えた際に、別の入力信号を自動的に検索します。「切」を選択すると、指定された接続ポートから入力を検索します。



入力信号

自動入力検索が「入」の時に検索する信号を選択します。▶ を押すと開くサブメニューで、検索する信号に [決定] を押してチェックを入れます。



補足

※「自動電源オフ(分)」の初期設定値は20分です。

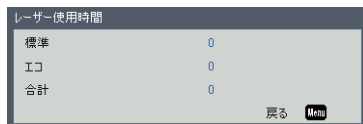
各種設定のしかた

レーザー設定

レーザー光源情報の表示や、関連する設定を変更できます。▶ を押してサブメニューを開き、設定を行ってください。



- ▶ レーザー使用時間：レーザー光源の使用時間を表示します。



- ▶ レーザー電力モード：レーザー光源の明るさを選択できます。通常の明るさで投写するには「標準」を、消費電力を低減するには「エコ」を選択します。



補足

❖ 使用時の室温が40℃を超えると、本機は自動的に「エコ」モードに移行します。

フィルター設定

この機能は使用しません。

高地モード

「入」を選択すると、冷却ファンの回転が速くなります。本機を標高 750m 以上で使用する場合は、「入」を選択してください。

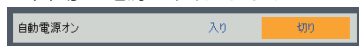


電力設定

自動電源オンとスリープタイマーの設定ができます。



- ▶ 自動電源オン：「入り」にすると本機に AC 電源が供給されると自動で電源が入ります。



- ▶ スリープタイマー(分)：指定時間後に本機の電源を切ります。



詳細設定

スタート画面と、無信号背景画面を設定できます。

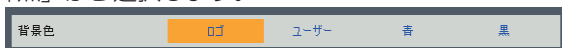
各種設定のしかた



- ▶ スクリーンキャプチャー：表示されている画像を背景が象用に登録します。



- ▶ 背景色：無信号時に表示される背景を「ロゴ」、「ユーザー」「青」、「黒」から選択します。

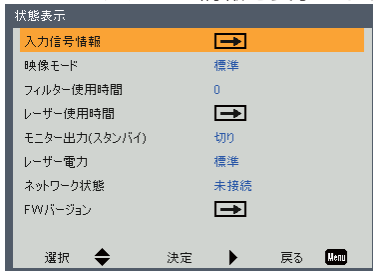


- ▶ リモコン ID：本機のリモコン ID を設定します。0～99 を設定します。

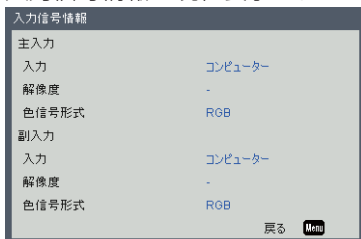


情報

プロジェクターの情報を表示します。

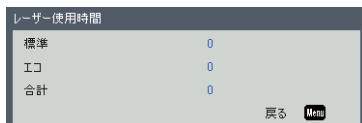


- ▶ 入力信号情報：現在表示されている入力信号を表示します。



各種設定のしかた

- 入力：入力信号を表示します。
- 解像度：入力信号の解像度を表示します。
- 色信号方式：入力信号の形式を表示します。
- ▶ 映像モード：映像モードを表示します。
- ▶ フィルター使用時間：この機能は使用しません。
- ▶ レーザー使用時間：レーザー光源の使用時間を表示します。

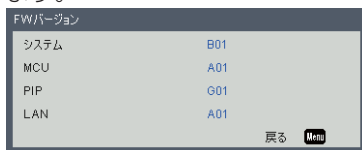


レーザー使用時間

標準	0
エコ	0
合計	0

戻る Menu

- ▶ ネットワーク状態：ネットワークの接続状態を表示します。
- ▶ FWバージョン：本機のファームウェアのバージョンを表示します。



FWバージョン

システム	B01
MCU	A01
PIP	G01
LAN	A01

戻る Menu

各種設定のしかた



3D

3D同期

3D 同期方式を選択します。



- ▶ DLP-Link：DLP-Link 方式の3D メガネを使用する場合に選択します。
- ▶ 外部：3D エミッターを使用した 3D 映像を表示するときに選択します。

補足

❖ 3D 映像を見るには、本機が対応する 3D ソース、3D コンテンツおよび 3D メガネが必要です。

❖ 「L/R 反転」は、3D が利用可能な場合のみ選択できます。

❖ 3D 映像の再生をやり直した際は、この設定の変更が必要になることがあります。

❖ 3D 映像を収録した Blu-ray の再生信号が入力されると、自動的に 3D 機能がオンになります。

L/R反転

L/R 反転機能の有効 / 無効を選択します。



- ▶ 切：通常は「切」を選択します。
- ▶ 入：表示された映像が不自然に見えたり、正しく立体に見えない場合に、「入」を選択します。

3D映像フォーマット

適切な 3D 映像フォーマットを選択します。

Blu-ray 3D ディスクを再生した場合は自動的に切り替わります。



- ▶ サイドバイサイド：「サイドバイサイド」フォーマットの 3D 映像を表示するモードです。
- ▶ トップアンドボトム：「トップアンドボトム」フォーマットの 3D 映像を表示するモードです。
- ▶ フレームシーケンシャル：「フレームシーケンシャル」フォーマットの 3D 映像を表示するモードです。

ウェブブラウザで本機を制御する

補足

❖ 本機を既存のネットワークに接続する際は、必ずネットワーク管理者の指示に従って設定してください。

RICOH PJ WUL5670 / PJ WXL5670 では、PC からウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。

本機へ接続する

1. 本機の IP アドレスの確認

本機のメニューで「設定」→「ネットワーク」を選択し、IP アドレスを確認します。

ネットワーク状態	接続
DHCP	入
IPアドレス	192.168.0.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.254
適用	
MAC	00-00-00-00-00-00

選択 ◀▶ 決定 ▶▶ 終了 MENU

補足

❖ 本ウェブページは Java Script を使用しています。お使いになるブラウザの設定で Java Script をオンにしてご使用ください。

2. 接続する

ウェブブラウザを開き確認した IP アドレスを入力します。たとえば、上図のように IP アドレスが表示された場合は <http://192.168.0.100/> と入力します。

ログインする

1. ウェブページを開くと、下のような画面が表示されます。



2. 画面左側の Admin と Crestron を選びます。

- ▶ Admin を選ぶと Web ブラウザーでの制御を行います。
- ▶ Crestron を選ぶと Crestron での制御を行います。
Crestron の制御については P67 以降を参照してください。

3. パスワードを Password に入力します。

パスワードが有効に設定されている時は、パスワードを入力する必要があります。

初期パスワードは「admin」です。

[Login] ボタンをクリックしてログインします。

補足

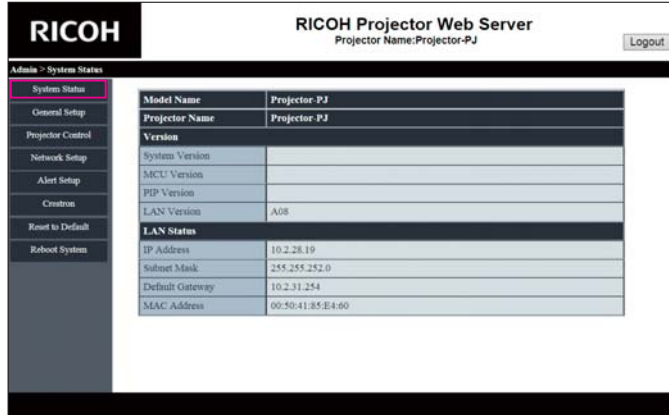
※ パスワードに使用できる文字は英数字と記号のみで、最大 32 文字となります。使用できない文字を入力すると、「Invalid Character」と警告が表示されます。

※ 上図のウェブページに表示されている「B01」は、ウェブサーバーのバージョンを示します。実際の表示が「B01」と異なることがあります。

LAN制御機能

システム状態 (System Status)

この画面にはプロジェクターの現在の状態が表示されます。ここではプロジェクターのコントロールはできません。



RICOH **RICOH Projector Web Server**
Projector Name: Projector-PJ Logout

Admin > System Status

System Status

Model Name	Projector P1
Projector Name	Projector PJ
Version	
System Version	
MCU Version	
PIP Version	
LAN Version	A08
LAN Status	
IP Address	10.2.28.19
Subnet Mask	255.255.252.0
Default Gateway	10.2.31.254
MAC Address	00:50:41:85:E4:60

- ▶ Version : 本機を構成する各ファームウェアのバージョンを表示しています。
- ▶ LAN Status : IP アドレス等のネットワークの設定を表示しています。

設定 (General Setup)

この画面ではプロジェクター名、パスワードの設定ができます。

補足

❖ ここで設定したプロジェクター名は、PJLink コントロールにも使用されます。

❖ プロジェクター名に使用できる文字は英数字と記号のみで、最大 32 文字となります。

補足

❖ パスワードに使用できる文字は英数字と記号のみで、最大 32 文字となります。

❖ Current password に入力された文字と、Confirm Password に入力された文字が一致しない場合は、エラーメッセージが表示されるので再度入力してください。

- ▶ プロジェクター名 (Projector Name) : 本機の名称を登録します。入力後「Apply」を押して確定します。
- ▶ WEB パスワード変更 (Change Password for Webpage) : 本 WEB ページのログインパスワードを変更します。旧パスワード (Enter Old Password), 新パスワード (Enter New Password), 新パスワード確認 (Confirm New Password) を入力し「Apply」を押すとパスワードが変更されます。旧パスワードの間違い、新パスワードと新パスワード確認が合致していないとパスワードは変更されません。
- ▶ PJLink パスワードの設定 (PJLink Setting) : PJLink パスワードの使用有無、パスワード変更が行えます。PJLink でパスワードを使用する際に、「enable」を選択してください。旧パスワード (Enter Old Password), 新パスワード (Enter New Password), 新パスワード確認 (Confirm New Password) を入力し「Apply」を押すとパスワードが変更されます。PJLink のパスワードの使用を「disable」から「enable」にしたときは、パスワードが設定されていません。旧パスワード (Enter Old Password) には何も設定せず、新しいパスワードを設定してください。旧パスワードの間違い、新パスワードと新パスワード確認が合致していないとパスワードは変更されません。

LAN制御機能

プロジェクターコントロール (Projector Control)

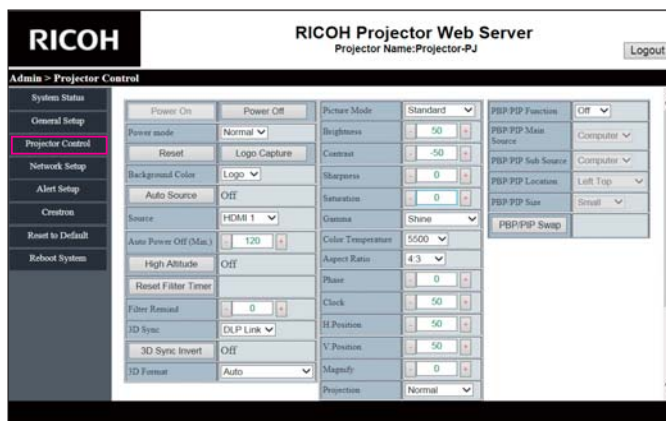
プロジェクターコントロールのページでは、プロジェクターの制御ができます。

制御できる各項目について説明します。

コントロールボタン: 各ボタンをクリックすると、その機能が実行されます。

機能ボタン: 各ボタンをクリックすると、機能のON/OFFが交互に切り替わります。(ON時の機能を説明しています。)

調整ボタン: +、-のボタンなどでプロジェクターの調整ができます。

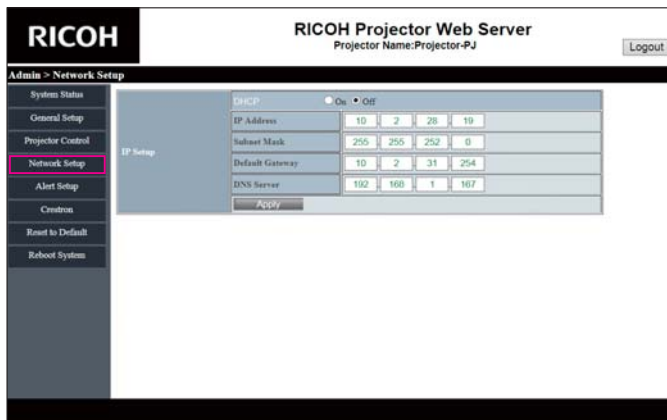


[Power On]	プロジェクターの電源が入ります。 「設定」→「ネットワーク(スタンバイ)」を「入」にして使用してください。
[Power OFF]	プロジェクターの電源が切れます。
[Power Mode]	レーザー光源の明るさを「通常」と「エコ」で切り替えます
[Reset]	本機の設定を工場出荷時に戻します。
[Logo Capture]	表示されている画像を背景画像用にキャプチャーします。
[Background Color]	無信号背景の画像を変更します。
[Auto Source]	自動入力切替の オン/オフを切り替えます。
[Source]	入力信号を選びます。
[Auto Power Off]	無信号時の電源オフ時間を設定します。

LAN制御機能

[High Altitude]	高地モードを設定します。
[Reset Filter Timer]	本機では使用しません。
[Filter Reminder]	本機では使用しません。
[3D Sync]	3D同期方式を選びます。
[3D Sync Invert]	L/Rを反転します。
[3D Format]	3D映像フォーマットを選びます。
[Picture Mode]	映像モードを選びます。
[Brightness]	明るさを＋ボタンで調整します。
[Contrast]	コントラストを＋ボタンで調整します。
[Sharpness]	シャープネスを＋ボタンで調整します。
[Saturation]	色の濃さを＋ボタンで調整します。
[Gamma]	ガンマを選びます。
[Color Temperture]	色温度を選びます。
[Aspect Ratio]	アスペクトを選びます。
[Phase]	サンプリング位相を＋ボタンで調整します。
[Clock]	サンプリング周波数を＋ボタンで調整します。
[H Position]	水平位置を＋ボタンで調整します。
[V Position]	垂直位置を＋ボタンで調整します。
[Magnify]	部分拡大を＋ボタンで調整します。
[Projection]	設置状態を選びます。
[PBP/PIP Function]	PIP/PIPを有効にします。
[PBP/PIP Main Source]	PIP/PBPの主入力を選びます。
[PBP/PIP Location]	PIP/PBPの副入力を選びます。
[PBP/PIP Size]	PIPの副入力の画面サイズを選びます。
[PBP/PIP Swap]	主入力と副入力を入れ替えます。

ネットワーク設定 (Network Setting)



ネットワーク設定(Network Setting)

IP アドレスなどのネットワークに関する設定を行います。

DHCP、サブネットマスク (Subnet mask)、デフォルトゲートウェイ (Default gateway) の設定は、本機のメニューでも設定できます。

DNS サーバー (DNS server) は、ウェブページでのみ設定可能です。これは、メールに関する設定をサーバー名で設定するときが必要です。

補足

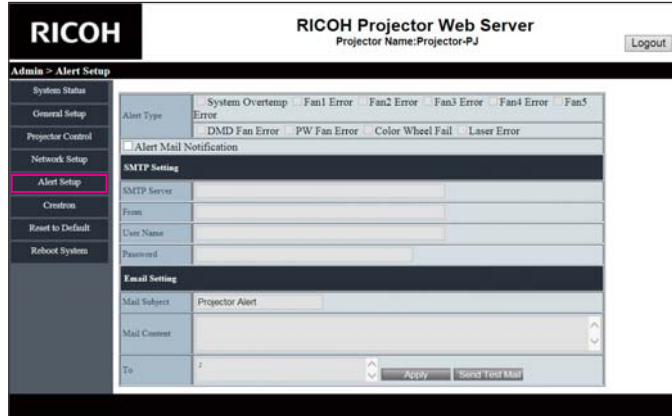
❖ 本機では IPv6 はご使用いただけません。

- ▶ DHCP よりネットワーク設定を自動的に行なう場合
DHCP にチェックをして、[Apply] をクリックします。
- ▶ ネットワーク設定を手動で行なう場合
Manual にチェックをして、IP アドレス (IP Address)、サブネットマスク (Subnet Mask)、デフォルトゲートウェイ (Gateway)、DNS サーバー (DNS Server) 欄に値を入れて、[Apply] をクリックします。

アラート設定 (Alert Setting)

本機は、エラーが発生したときにアラートメールを送ることができます。

ここで、アラートメールに関する設定をします。



補足

❖ 設定を変更したときは、メール設定が正しく設定されているかを確認してください。テストメールの送信をすることをお勧めします。

❖ メール送信プロトコルは、SMTPのみをサポートします。それ以外のプロトコルは使用できません。

- ▶ アラートタイプ (Alert type)
アラートメールを送信したいエラーにチェックします。(複数選択可能)
- ▶ アラートメール通知
クリックして、以下の設定を行います。
 - メールサーバー設定 (SMTP Setting)
メール送信サーバー (SMTP サーバー) のアドレス (サーバー名)、From (送信元)、ユーザー名、パスワードを入力します。
 - メール設定 (Email Setting)
Mail Subject (件名)、Mail Content (メール文章)、To (送信先) を、それぞれの欄に入力します。英数字及び記号で最大 32 文字の入力が可能です。[Apply] をクリックします。
- ▶ 「Apply」を押して確定します。

条件	送信条件	メールタイトル
[Fan Error]	冷却ファンが停止した場合	Fan Lock:xxx.xxx.xxx.xxx*
[System Overtemp]	本体の温度が高温になった場合	Over Temperature:xxx.xxx.xxx.xxx*
[Color Wheel Fail]	カラーホイールのエラー	Color Wheel:xxx.xxx.xxx.xxx*
[Laser Fail]	レーザー光源が点灯しなかった場合	Laser:xxx.xxx.xxx.xxx*

* xxx.xxx.xxx.xxx には、プロジェクターの IP アドレスがはいるます

LAN制御機能

クレストロン

クレストロン制御を利用したプロジェクターのコントロールが使用できます。



補足

❖ プロジェクターがスタンバイのときは”Power” ボタンのみが有効となります。

- ▶ Power：電源のオンオフを切り替えます。
- ▶ 入力リスト (SourceList)：入力表示と本機の入力端子との対応は以下になります。
 - ・VGA1：コンピューター(Computer)
 - ・HDMI1：HDMI1
 - ・HDMI2：HDMI2/MHL
 - ・HDMI3：HDMI3
 - ・HDBaseT：HDBaseT
- ▶ そのほかのボタンについてはプロジェクターの制御 (Projector Control) と同様に動作します。

クレストロン ツール (Crestron Tools)

プロジェクターのネットワークの設定とクレストロンルームビュー (Crestron Room View) の設定ができます。

補足

❖ ユーザーパスワードを設定した場合、パスワードを入力することでクレストロンのページにアクセスすることができます。

❖ Admin パスワードを有効にした場合、Admin パスワード入力時のみクレストロンツールのページにアクセスできます。

The screenshot shows the 'Crestron Tools' web interface. It has a top navigation bar with 'Tools', 'Info', and 'Contact IT Help'. The main content area is divided into three sections: 'Crestron Control', 'Projector', and 'User Password'.
- 'Crestron Control' includes fields for 'Ip Address' (192.168.0.50), 'IP ID' (7), and 'Port' (41794), with a 'Send' button.
- 'Projector' includes fields for 'Projector Name' (PJ VXL5670), 'Location', 'Assigned To' (Ricoh Projector), and a 'Send' button. Below this is a 'DHCP' section with a checkbox for 'Enabled' (unchecked) and fields for 'Ip Address' (192.168.0.100), 'Subnet Mask' (255.255.255.0), 'Default Gateway' (192.168.0.254), and 'DNS Server' (192.168.0.51), with a 'Send' button.
- 'User Password' has a checkbox for 'Enabled' (unchecked) and fields for 'New Password' and 'Confirm', with a 'Send' button.
- 'Admin Password' has a checkbox for 'Enabled' (unchecked) and fields for 'New Password' and 'Confirm', with a 'Send' button.
At the bottom center is an 'exit' button.

クレストロン 情報 (Crestron Info)

プロジェクターのファームウェアのバージョンやランプの状況についての情報を表示することができます。

The screenshot shows the 'Crestron Info' web interface. It has a top navigation bar with 'Tools', 'Info', and 'Contact IT Help'. The main content area is divided into two sections: 'Projector Information' and 'Projector Status'.
- 'Projector Information' includes fields for 'Projector Name' (PJ VXL5670), 'Location', 'Firmware Version' (B01), 'Mac Address' (00:50:41:85:59:81), 'Resolution', 'Lamp Hours' (7), and 'Assigned To' (Ricoh Projector).
- 'Projector Status' includes fields for 'Power Status' (Power On), 'Source' (S-Video), 'Picture Mode' (Bright), 'Projection' (Front-Deadtop), 'Lamp Power' (Normal), and 'Error Status' (0/No Error).
At the bottom center is an 'exit' button.

LAN制御機能

クレストロンのIT管理者に問い合わせる

X-Panel を使用している IT 管理者との連絡を行うことができます。

The screenshot shows the X-Panel interface with a 'Contact IT Help' button highlighted in pink. Below it is a form with a 'Title' field and a 'Send' button. The main content area is divided into two columns: 'Projector Information' and 'Projector Status'.

Projector Information		Projector Status	
Projector Name	PJ WXL5670	Power Status	Power On.
Location		Source	Video
Firmware Version	B01	Picture Mode	Bright
Mac Address	00.50.41.85.59.81	Projection	Front-Desktop
Resolution		Lamp Power	Normal
Lamp Hours	7	Error Status	0:No Error
Assigned To	Ricoh Projector		

exit

補足

❖ クレストロン社は以下の2種類のファイルを提供しています。
a) RoomViewExpress _6_3_3_7.exe
b) Xpanel.exe

設定のリセット(Reset to Default)

ネットワークに関する設定を工場出荷時に戻すことができます。「Apply」ボタンを押してください。

The screenshot shows the Ricoh Projector Web Server interface. The 'Reset to Default' option in the left sidebar is highlighted with a pink box. The main content area displays a warning message: 'Reset Default. This will restore the device to the factory default settings.' with an 'Apply' button.

システムの再起動(Reboot System)

システムを再起動することができます。
「Apply」ボタンを押してください。



プロジェクター管理ユーティリティで本機を制御する

補足

※本ソフトウェアは、当社のプロジェクターを管理するためのソフトウェアです。当社のプロジェクター以外の製品を管理すると、正常に動作しないことがあります。詳細についてはユーティリティのヘルプを参照してください。

※プロジェクター管理ユーティリティをアンインストールするときは、「コントロールパネル」にあるプログラム削除機能を使用して、“Projector Management Utility” を削除してください。

プロジェクター管理ユーティリティについて

プロジェクター管理ユーティリティはPJLink クラス 1 の規格に適合し、クラス 1 のすべてのコマンドに対応しています。1 台のパソコンで、ネットワークに接続しているプロジェクターを 100 台まで管理できます。

プロジェクター管理ユーティリティの動作環境は次のとおりです。

- 対応 OS
- Windows Vista Ultimate / Business / Home Premium / Home Basic (32bit /64bit 版)
- Windows 7 Home Premium / Professional /Ultimate / Enterprise (32bit /64bit 版)
- Windows 8 Pro / Enterprise (32bit /64bit 版)
- Windows 8.1 Pro / Enterprise (32bit /64bit 版)
- Windows 10 Pro / Enterprise / Home / Education (32bit /64bit 版)
- Windows Server 2008 Standard SP2 以降 (32bit /64bit 版)
- Windows Server 2008 R2 Standard SP1 以降 (64bit 版)
- メモリーサイズ

使用している OS の推奨メモリーサイズに準拠

- 表示解像度

800 × 600 ピクセル以上

プロジェクター管理ユーティリティをインストールする。

プロジェクター管理ユーティリティは付属の CD-ROM に格納されています。

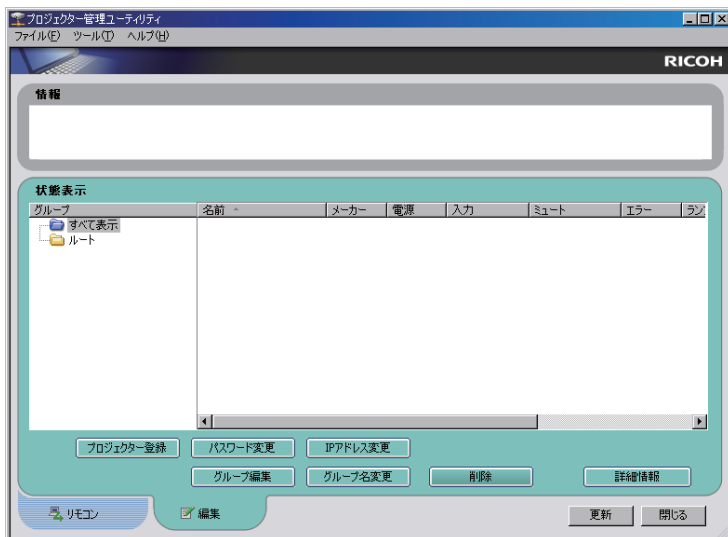
ユーティリティをインストールまたはアンインストールするときは、管理者権限でログインしてください。

1. すべてのアプリケーションを閉じます。
2. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしたあと、言語選択画面が表示されますので [X] をクリックしてウィンドウを閉じます。
3. CD-ROM のアイコンを右クリックして、[開く] を選びます。
4. CD-ROM 内の “Projector Management Utility” フォルダを開きます。
5. “Projector Management Utility” フォルダ内の setup.exe をダブルクリックします。
6. 画面の指示に従って、インストールを実行します。
7. インストールが完了したら、「完了」をクリックします。デスクトップにショートカットアイコンが作成されます。

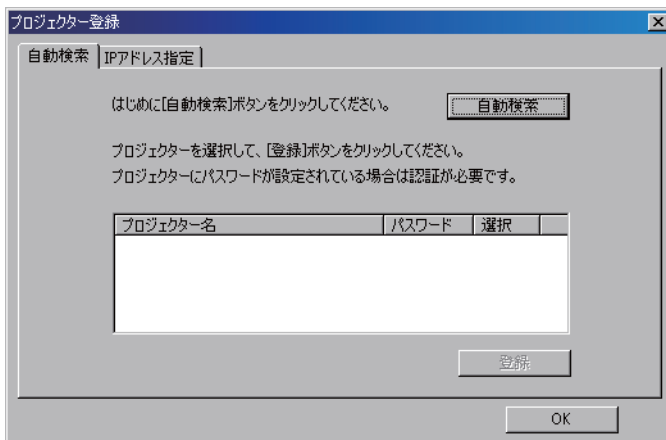
プロジェクターを登録する

1. 自動検索でプロジェクターを登録する場合

[プロジェクター登録] ボタンをクリックします。

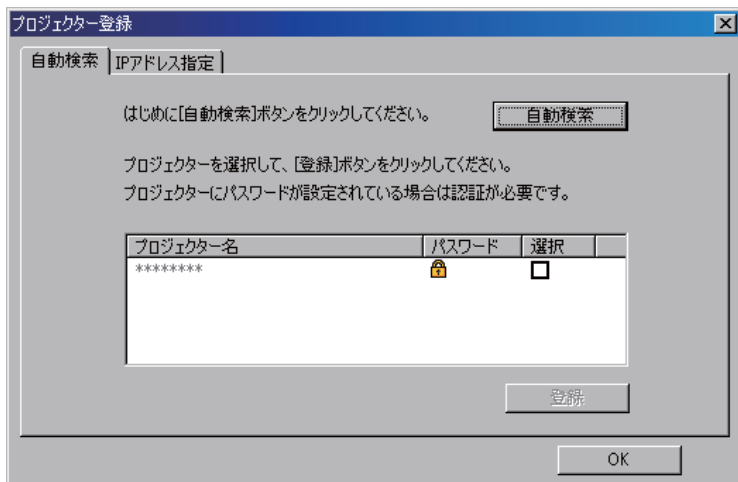


[自動検索] ボタンをクリックします。

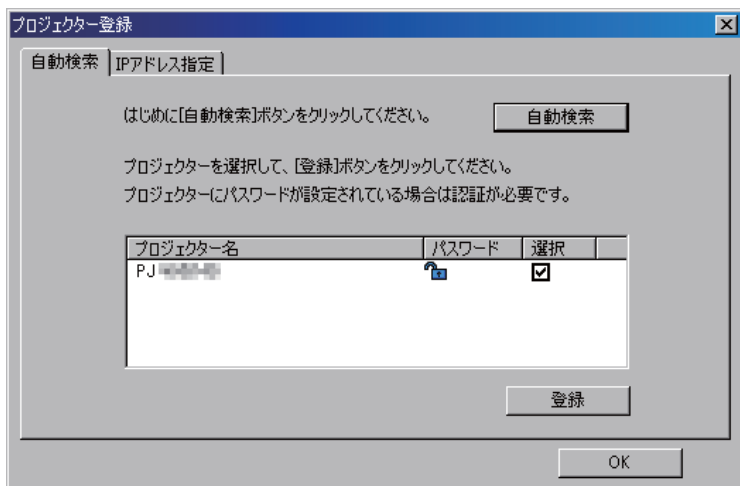


LAN制御機能

ネットワーク内のPJLink 対応プロジェクターの一覧が表示されます。パスワードが設定されているプロジェクターは、認証されるまで「*****」と表示されます。



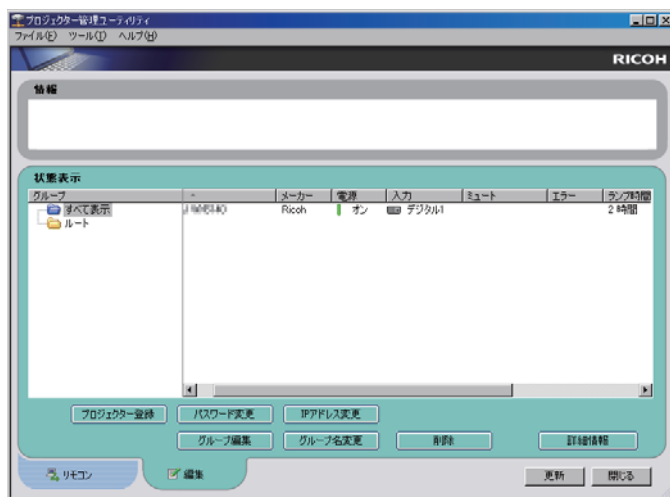
コントロールしたいプロジェクターを選んで、[登録] ボタンをクリックします。パスワードが有効に設定されている場合は、パスワード認証が必要になります。



[OK] ボタンをクリックしてもとの画面に戻ります。

LAN制御機能

登録されたプロジェクターが表示されます。



LAN制御機能

2. IPアドレスを直接入力してプロジェクターを登録する場合

・プロジェクターのIPアドレスを入力して[確認]ボタンをクリックすると、プロジェクター名が表示されます。問題が無ければ[登録]ボタンをクリックしてください。プロジェクターが登録されます。

プロジェクト登録

自動検索 IPアドレス指定

IPアドレスを入力して、[確認]ボタンをクリックしてください。
プロジェクト名を確認して、[登録]ボタンをクリックしてください。

IP アドレス 192 168 0 100

プロジェクト名 PJ WX5140

確認 登録

OK

[OK] ボタンをクリックするともとの画面に戻ります。

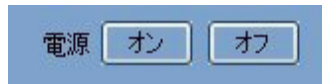
LAN制御機能

プロジェクター管理ユーティリティでプロジェクターを制御する

プロジェクターを制御するには、「リモコン」タブを押してリモコン画面に切り替えます。一覧表示されている中から制御したいプロジェクター（/グループ）を選び、画面下部のボタンで制御します。

[電源] ボタン

プロジェクター（/グループ）一覧から選択したプロジェクターおよびグループの電源を「オン/オフ」します。



[入力切換] ボタン

プロジェクター（/グループ）一覧から選択したプロジェクターおよびグループの入力を切換えます。プロジェクターが指定された入力に対応していない場合は、入力は切換わりません。



本機のプロジェクター管理ユーティリティの入力表示と実際の入力信号の対応は以下のようになっています。

本機の入力名	PJLink の入力名
コンピューター	RGB1
HDMI1	デジタル1
HDMI	デジタル2
HDMI	デジタル3
HDBaseT	デジタル4

[ミュート] ボタン

プロジェクター（/グループ）一覧から選択したプロジェクターおよびグループのミュートを「オン/オフ」にします。本機では映像のみや音声のみのミュートに対応していないため、映像や音声を選んででもミュートは切換わりません。



[詳細情報] ボタン

選択されたプロジェクターについての詳細情報画面を表示します。

故障かな・・・と思ったときは

本機のトラブルが発生したら、次の情報を参照してください。症状が改善されないときは、販売店もしくはサービス実施店まで連絡してください。

症状：電源が入らない

- ▶ 電源コードのプラグやコネクターが正しく接続されているか確認してください。
- ▶ 電源を切る際に冷却動作が終了する前に電源コードを抜いて機内の温度が下がりきっていない場合、次の電源オン時に冷却動作が入ります。冷却動作が終わるまでしばらくお待ちください。

症状：使用中に電源が切れる

- ▶ 周囲の温度が高くないか確認してください。
- ▶ 吸気口や排気口がふさがれていないか確認してください。

症状：画面に映像が出ない

- ▶ すべてのケーブルや電源の接続に間違いがなく、「設置」の章で示されたようにしっかりと接続されているか確認します。
- ▶ コネクターのピンが曲がっていたり壊れたりしていないか確認します。
- ▶ [AV ミュート] 機能が働いていないか確認します。
- ▶ [自動入力検索] が [切り] の場合、正しい入力先が選択されていることを確認します。

症状：音が出ない

- ▶ [自動入力検索] が [切り] の場合、正しい入力先が選択されていることを確認します。
- ▶ AV ミュート機能、ミュート機能がはたっていないか確認します。
- ▶ 音量を確認してください。
- ▶ パソコンや AV 機器が、本機と正しく接続されていることを確認してください。

故障かな・・・と思ったときは

症状：映像が部分的に映る、スクロールするまたは正常に映らない

- ▶ リモコンの [オートセット] を押します。
- ▶ コンピューターの画面設定を開いて、表示解像度が 1600 × 1200 ドット以下に設定されていることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング・システムのヘルプファイルを参照してください。
- ▶ ノートパソコンを使用しているとき：
 1. 最初に、上記の手順に従ってコンピューターの解像度を調整します。
 2. トグル出力設定を押します。例：[Fn] + [F3]

PANASONIC、NEC → Fn + F3
HP、SHARP、TOSHIBA → Fn + F5
IBM、SONY → Fn + F7
DELL、EPSON → Fn + F8
FUJITSU → Fn + F10
APPLE → F7

- ▶ 解像度の変更がうまくいかなかったり、モニターがフリーズしたりするときは、本機を含めたすべての機器を再起動します。

故障かな・・・と思ったときは

症状：ノートパソコンの画面が表示されない。

- ▶ ノートパソコンを使用している場合：
製品によっては、外部出力を接続すると内蔵画面がオフになるものがあります。再度オンにする方法は、製品によって異なります。詳細については、お使いのコンピューターのマニュアルを参照してください。

症状：映像が安定しない、またはちらつく

- ▶ 「サンプリング位相」または「サンプリング周波数」を適切な値に調整します。詳細については、「水平位置」または「垂直位置」を参照してください。
- ▶ コンピューターの表示モードを確認して再設定します。本機と互換性のあるモードを選んでください。

症状：映像のピントが合わない

- ▶ フォーカスリングを調整してください。
- ▶ スクリーンまでの距離が所要の範囲内であることを確認します。(38～40 ページを参照)

症状：DVD を表示するとき映像が引き伸ばされる

リモコンの[アスペクト]を押すか、メニューの「スクリーン」→「アスペクト比」を選択して、映像が適切なアスペクト比で表示されるよう調整します。

症状：映像が小さすぎる、または大きすぎる

- ▶ 本機上部のズームレバーを調整します。
- ▶ 本機をスクリーンに近づけるか、スクリーンから離します。
- ▶ リモコンの[アスペクト]を押すか、本機の操作部にある「メニュー」ボタンを押してメニューを開き、「スクリーン」→「アスペクト比」で別の設定を試みます。

症状：映像が反転する

- ▶ メニューの「スクリーン」→「設置状態」で、映像の表示方法を選択します。

症状：インジケータの点灯によるメッセージ

故障かな・・・と思ったときは

メッセージ	電源 インジケーター	温度 インジケーター	ランプ インジケーター
	(赤 / 青)	(赤)	(赤)
スタンバイ	 (赤)		
ネットワークスタンバイ	 (紫)		
電源オン (起動時)	赤点滅 (1 秒)		
ノーマル (電源オン)	 (青)		
電源オフ (冷却)	青点滅 (0.5 秒)		
内部エラー			
ファンエラー		点滅 (3 秒)	
カラーホイールエラー		点滅 (0.5 秒)	
温度エラー			
レーザー電圧エラー			

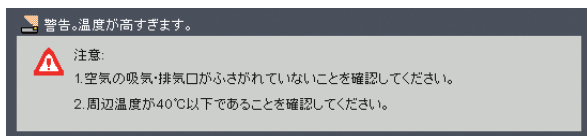
補足

点灯→
消灯→

故障かな・・・と思ったときは

症状：メッセージ通知

- ▶ 温度エラー—本機の内部の温度が過熱しています。使用環境を確認してください。



- ▶ ファンエラー—冷却ファンが作動していません。



インターネットのFAQページを開覧する

リコーでは、お客様からいただく良くあるご質問（FAQ）をホームページで公開しています。

プロジェクターについての疑問や質問はよくある質問をまとめたFAQを確認してください。ホームページのURLは次のとおりです。

<http://www.ricoh.co.jp/support/qa/>

検索方法はお使いのモデルを選択し、以下の2種類から検索します。

番号検索

空欄にFAQ番号を入力し、検索ボタンを押してください。

FAQデータベースから、該当する番号の回答を検索できます。

キーワード検索

空欄にキーワードを入力し、検索ボタンを押してください。

FAQデータベースから、該当する回答の候補を検索できます。

対応信号一覧表

A. コンピューター入力				
(1) RGBアナログ—PC信号				
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
VGA	640×480	60	31.47	25.18
	640×480	72	37.86	31.50
	640×480	75	37.50	31.50
	640×480	85	43.27	36.00
SVGA	800×600	56	35.20	36.00
	800×600	60	37.88	40.00
	800×600	72	48.08	50.00
	800×600	75	46.88	49.50
	800×600	85	53.67	56.25
XGA	1024×768	60	48.36	65.00
	1024×768	70	56.48	75.00
	1024×768	75	60.02	78.75
	1024×768	85	68.67	94.50
SXGA	1152×864	70	63.80	94.50
	1152×864	75	67.50	108.00
	1152×864	85	77.10	121.50
	1280×1024	60	63.98	108.00
	1280×1024	72	77.90	134.60
	1280×1024	75	79.98	135.00
	1280×1024	85	91.15	157.50
QuadVGA	1280×960	60	60.00	108.00
	1280×960	75	75.00	126.00
SXGA+	1400×1050	60	65.32	121.75
UXGA	1600×1200	60	75.00	162.00
PowerBook G4	640×480	60	31.50	25.17
	640×480	66.6 (67)	35.00	30.24
	800×600	60	37.88	40.00
	1024×768	60	48.36	65.00
	1152×870	75	68.68	100.00
	1280×960	75	75.20	126.00
iMAC DV(G3)	1024×768	75	60.30	80.00

A. コンピューター入力

(2) RGBアナログーワイド信号				
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
WSVGA	1024×600	60	37.3	50.40
WXGA	1280×768	60	47.78	79.50
	1280×768	75	60.29	102.25
	1280×768	85	68.63	117.50
	1280×720	60	44.80	74.25
	1280×800	60	49.60	83.50
	1366×768	60	47.74	85.50
WXGA+	1440×900	60	55.90	106.50
WSXGA	1680×1050	60	65.30	146.25
1080P	1920×1080	60		
WUXGA	1920×1200 - RB	60	66.60	154.00
(3) コンポーネント信号				
480i	720×480	59.94 (29.97)	27.00	—
480p	720×480	59.94	31.47	—
576i	720×576	50 (25)	27.00	—
576p	720×576	50	31.25	—
720p	1280×720	60	45.00	—
720p	1280×720	50	37.50	—
1080i	1920×1080	60 (30)	33.75	—
1080i	1920×1080	50 (25)	33.75	—
1080p	1920×1080	60	67.50	—
1080p	1920×1080	50	56.25	—

B. HDMI

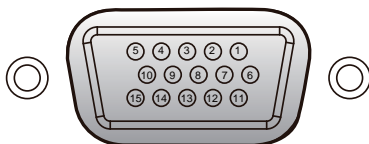
(1) HDMI—PC信号				
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
VGA	640×480	60	31.47	25.18
	640×480	72	37.86	31.50
	640×480	75	37.50	31.50
	640×480	85	43.27	36.00
SVGA	800×600	56	35.20	36.00
	800×600	60	37.88	40.00
	800×600	72	48.08	50.00
	800×600	75	46.88	49.50
	800×600	85	53.67	56.25
XGA	1024×768	60	48.36	65.00
	1024×768	70	56.48	75.00
	1024×768	75	60.02	78.75
	1024×768	119.804	98.80	—

B. HDMI				
(1) HDMI—PC信号				
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
SXGA	1152×864	70	63.80	
	1152×864	75	67.50	108.00
	1152×864	85	77.10	121.50
	1280×1024	60	63.98	108.00
	1280×1024	72	77.90	134.60
	1280×1024	75	79.98	135.00
QuadVGA	1280×960	60	60	
	1280×960	75	75.00	126.00
SXGA+	1400×1050	60	65.32	121.75
UXGA	1600×1200	60	75.00	162.00
PowerBook G4	640×480	60	31.50	25.17
PowerBook G4	640×480	60	31.50	25.17
	640×480	66.6 (67)	35.00	30.24
	800×600	60	37.88	40.00
	1024×768	60	48.36	65.00
	1152×870	75	68.68	100.00
	1280×960	75	75.20	126.00
iMAC DV(G3)	1024×768	75	60.30	80.00
(2) HDMI—PC ワイド信号				
WSVGA	1024×600	60	37.3	50.40
WXGA	1280×768	60	47.78	79.50
	1280×768	75	60.29	102.25
	1280×768	85	68.63	117.50
	1280×720	60	44.80	74.25
	1280×800	60	49.60	83.50
	1366×768	60	47.74	85.50
WXGA+	1440×900	60	55.90	106.50
WSXGA	1680×1050	60	65.30	146.25
1080P	1920×1080	60		
WUXGA	1920×1200 - RB	60	66.60	138.50
(3) HDMI—ビデオ系信号				
480i	720×480 (1440×480)	59.94 (29.97)	27.00	—
480p	720×480	59.94	31.47	—
576i	720×576 (1440×576)	50 (25)	27.00	—
576p	720×576	50	31.25	—
720p	1280×720	60	45.00	—
720p	1280×720	50	37.50	—
1080i	1920×1080	60 (30)	33.75	—
1080i	1920×1080	50 (25)	33.75	—
1080p	1920×1080	60	67.50	—
1080p	1920×1080	50	56.25	—
1080p	1920×1080	24/23.98	27.00	—

3D入力信号			
入力解像度	HDMI 3D入力 (Blu-ray 3D)	入力信号レート	
		1280 X 720P @ 60Hz	トップアンドボトム
		1280 X 720P @ 50Hz	フレームパッキング
		1280 X 720P @ 60Hz	フレームパッキング
		1920 X 1080i @50 Hz	サイドバイサイド
		1920 X 1080i @60 Hz	サイドバイサイド
		1920 X 1080P @24 Hz	トップアンドボトム
		1920 X 1080P @24 Hz	フレームパッキング
	HDMI 3D入力	1920 x 1080i @ 50Hz	サイドバイサイド(ハーフ) またはトップアンドボトム
		1920 x1080i @ 60Hz	
		1280 x 720P @50Hz	
		1280 x 720P @60Hz	
		480i	HQFS
	コンピューター	800x600 @ 60Hz	サイドバイサイド(ハーフ) またはトップアンドボトム
		1024x768 @ 60Hz	
		800x600 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
		1024x768 @ 120Hz	
	ビデオ	NTSC	HQFS

端子の形態

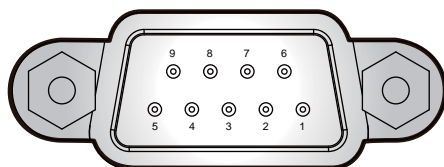
端子：コンピューター入力端子（ミニDサブ15ピン）[モニター出力端子]



1	赤 (R/Cr) 入力/R出力	9	DDC 5V/NC
2	緑 (G/Y) 入力/G出力	10	グラウンド (垂直同期)
3	青 (B/Cb) 入力/B出力	11	NC*
4	NC*	12	DDCデータ/[NC*]
5	グラウンド (水平同期)	13	水平同期入力/出力 (水平/垂直複合同期)
6	グラウンド (赤)		
7	グラウンド (緑)	14	垂直同期入力/出力
8	グラウンド (青)	15	DDCクロック/NC

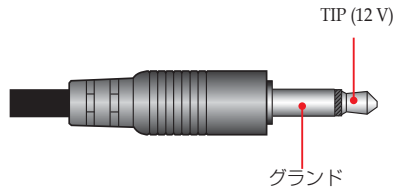
* 何も接続しないでください。

端子：PC制御 (Dサブ9ピン)

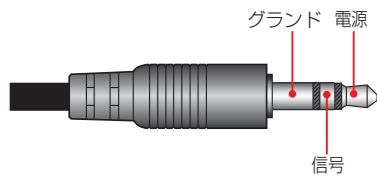


1	NC*	6	NC*
2	RXD (データ受信)	7	NC*
3	TXD (データ送信)	8	NC*
4	NC*	9	NC*
5	GND	* 何も接続しないでください。	

端子：同期出力端子 (+12V)



端子：有線リモコン



仕様

■ 一般仕様一覧

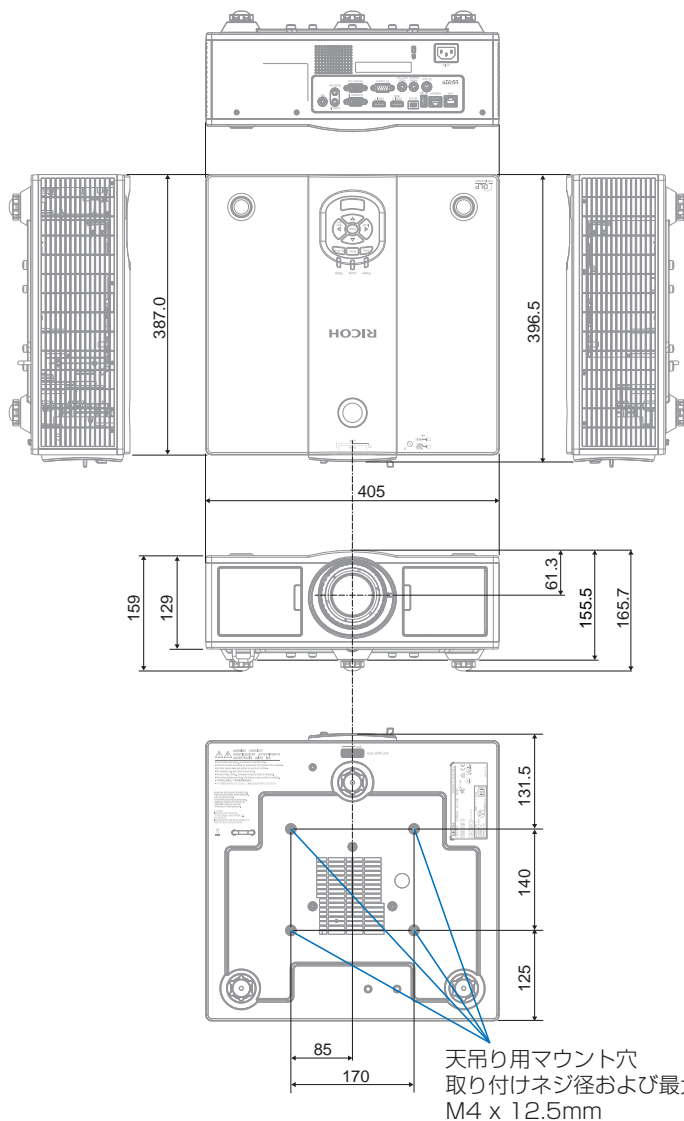
項目	モデル名	
	PJ WXL5670	PJ WUL5670
DLP チップ	0.65" WXGA	0.67" WUXGA
投写レンズ	手動ズーム (1.8x) および手動フォーカス	
投写距離 (フォーカス範囲)	< 広角 > 2.7~8.1m	< 広角 > 2.6~7.7m
	< 望遠 > 1.4~9.6m	< 望遠 > 1.7~9.2m
スローレシオ (距離 / 幅)	1.26~2.24	1.2~2.13
寸法 (幅×高さ×奥行)	387(W) x 405(D) x 155.5(H) mm (突起部除く)	
	398.5(W) x 405(D) x 165.7(H) mm (突起部含む)	
質量	約 11.4 kg	
入出力端子	<ul style="list-style-type: none"> • コンピューター入力端子 • HDMI1入力端子 • HDMI2/MHL入力端子 • HDMI3入力端子 (本体前面) • HDBaseT端子 • 音声入力端子 • マイク入力端子 • モニター出力端子 	<ul style="list-style-type: none"> • 音声出力端子 • LAN端子 • USB 5V/1.5A電源供給端子 (本体背面と前面の2ヶ所) • 有線リモコン端子 • 12Vトリガー出力端子 • 3D接続端子 • PC制御端子(9ピン) • サービス端子
スピーカー	10W × 2	
光源寿命	20000 時間	
騒音	標準モード: 35dB (A) 最大 37dB(A) エコモード: 29dB (A) 最大 31dB(A)	
待機電力 (モニター出力オフ)	0.5W 以下	
動作 / 保管環境	<ul style="list-style-type: none"> • 動作温度: 5~40℃ 湿度: 20~80% (結露なし) • 保管温度: -20~60℃ 湿度: 20~80% (結露なし) 	
消費電力	エコモード: 285W 標準モード: 470W	

補足

- 本機は上記仕様に準拠しています。
- 設計、仕様などは予告なく変更することがあります。
- 本機は新しく追加された機能および/または仕様に対応しないことがあります。

外形寸法

単位: mm



商標

- DLPはテキサス・インスツルメンツの登録商標です。DLP Linkはテキサス・インスツルメンツの商標です。
- IBMは、米国 International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintosh、Mac OS X、iMac、およびPowerBookは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- KensingtonはACCO Brands Corporationの商標です。
- Blu-rayはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。





■ 消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売担当者にご注文ください。

<http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html>

■ 保守部品について

補修用性能部品及び消耗品の最低保有期間は、本機の製造中止後、7年間です。

したがって、本期間以降は、修理をお引き受けできない場合があります。

■ 故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、販売担当者にお問い合わせください。

修理範囲(サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、販売担当者にご連絡ください。転居先の最寄りの販売担当者をご紹介します。

■ 操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「リコーテクニカルコールセンター」にお問い合わせください。

0120-892-111

●受付時間: 平日(月～金)9時～17時(土日、祝祭日、弊社休業日を除く)

●お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/contact/index.html>